

当日配布

## 埼玉県生協連2018年度第2回活動委員会

日時 2018年10月25日(木) 13時30分~16時00分

場所 埼玉県生協連 会議室

出欠 別紙参照

次 第 1. 会長理事挨拶 2. 出欠報告(事務局)

### ■議題

- ・会長あいさつ

#### I. 話し合いたいこと

- 1. 活動委員会での意見交換・交流について

(1) 「子どもの貧困」「平和・憲法」について各会員生協の取り組みから学ぶ 事前別冊

(2) 2018年度役職員研修会(11/15)等の取り組みの確認 事前別冊

- 2. 9-10月活動報告書と各会員生協資料 当日別冊

#### II. 日本生協連からの報告(中央地連) 当日別冊

#### III. 確認したいこと

- 1. 第54回埼玉県消費者関連

(1) 第54回埼玉県消費者大会(10/9)速報 事前送付P1

(2) 埼玉県市町村における消費生活関連事業調査結果報告 当日別冊

#### IV. 報告したいこと①(事前送付部分は、一括して報告)

- 1. 消費者関連問題の取り組みについて

(1) 消費者に関わる行政や各団体の取り組み 事前送付P2

- (2) 埼玉消費者被害をなくす会の取り組みと今後の課題

①消費者被害めやすばこアンケートのお願い

②消費者力アップ学習会 Vol.2(12/4)

(3) 埼玉県受託事業関連(なくす会)

- 2. 食の安全行政の充実・強化関連

(1) 食の安全に関わる行政や各団体の取り組み 事前送付P8

- 3. フードバンク埼玉シンポジウム 2018(10/10) 当日配布P2

- 4. 助け合い活動交流会(1/17)について 事前送付P9

- 5. 2018さよなら原発埼玉県民集会関連

(1) 実行委員会(9/11)報告、県民集会(10/7)報告 事前送付P10~11

- 6. 平和の取り組み関連

(1) 平和・市民5団体懇談会(8/29)報告 事前送付P14

(2) ヒバクシャ国際署名関連 事前送付P15

- 7. 2018年度「体験稻刈り＆田んぼの生きもの調査」(9/15)報告 事前送付P18

- 8. 平成30年度関東甲信越行政生協関係者連絡会(10/19)報告 当日配布P3

#### V. 報告したいこと②(文書報告)

- 1. 第2回理事会(9/13)報告

事前送付P19

- 2. 第2回監事会(9/6)報告

事前送付P20

- 3. 第1回活動委員会(8/30)報告

事前送付P21

- 4. 埼玉消団連

(1) 幹事会(9/19)報告 事前送付P22

- 5. 埼玉消費者被害をなくす会

(1) 消費者力アップ学習会 Vol.1(8/28)報告 事前送付P23

(2) 第3回活動委員会 (10/18) 報告

## 6. 活動日誌と予定

当日配布 P 4

事前送付 P 24~25

## VII. 参考資料

### 1. 労福協～多重債務者無料相談会

事前配布 P 26~28

第3回活動委員会は、12月13日(木) 14:30~17:00 市民会館うらわ7階

※埼玉県生協連「組合員活動交流会」同日開催 10:30~14:30

〃

## 2018年度 第2回活動委員会（10月25日）

### メンバーと出欠（敬称略）

生協名	氏名	役職	出欠	備考
埼玉県生協連	岩岡 宏保	会長理事	○	
同上	大久保美紀	常務理事	○	
コープみらい	関野 利香	理事	○	
同上	本多 達	参加とネットワーク推進部 部長	○	
パルシステム埼玉	山水磨留美	理事	○	
同上	武井 紳	組織運営部 部長	欠	
生活クラブ生協	菊一 敦子	理事	○	
同上	金津 貴子	役員室	欠	
医療生協さいたま生協	磯崎 悅子	常務理事	○	
同上	久保田直生	けんこう文化統括部長	○	代理：保土田 毅
埼玉県労働者共済生協	塙崎 輝幸	事業推進部 部長	欠	
東都生協	荒井 伸幸	組織運営部 部長	○	
事務局	今野 嘉久	事務局長	○	
同上	加藤 一彦	事務局	○	
同上	清水 勤	事務局	○	
同上	清水 桂	事務局	○	
同上	青木 和彦	事務局	○	
日本生協連中央地連	平岡 真治	担当事務局	○	代理：渡邊 大輔
日本生協連サステナビリティ推進部	山田 浩史	オブザーバー	○	

適格消費者団体 特定適格消費者団体  
特定非営利活動法人

## 埼玉消費者被害をなくす会 この間の取り組みと今後の課題

2018年10月25日 事務局

### 1. 概況

(1) 会員状況→正会員 130(団体 18・個人 112)、賛助会員 50(団体 8・個人 42)

### 2. 差止請求関係・被害回復関係

(1) 10月22日時点での当会の取り扱い事案は、差止請求に関するものが、訴訟2件、訴訟準備1件、申入れ2件、申入れ準備3件、問合せ9件、新規・取り扱い検討9件、の合計26事案。被害回復に関するものが、問合せ1件となっています。

(2) 株NTT ドコモに対する差止請求訴訟控訴審第2回裁判日(期日)が、9月14日に東京高裁でおこなわれ、審議が終了(終結)しました。次回は、11月28日に判決の言い渡しがあります。

(3) 株ディー・エヌ・エー(モバゲー)に対する差止請求訴訟の第1回裁判日(期日)が、9月26日にさいたま地裁でおこなわれました。裁判では当会が指摘した、修正が必要な契約条項4つのうち、2つを株ディー・エヌ・エー(モバゲー)側が、裁判までに修正したことがわかりました。今後も裁判を通じて、残る契約条項の修正を目指します。次回の裁判(第2回期日)は、11月14日、10時50分より、さいたま地裁C棟105号法廷でおこなわれます。

(4) 9月28日に開催した2018年度第3回理事会で、あらたに株トーソーコンストラクションに対して裁判を起こすこと(訴訟提起)を承認しました。当該事業者は、外壁塗装をおこなっており、工事のキャンセルに関する条項などに問題があるものです。

### 3. 活動委員会

(1) 引き続き、景品表示法などの「法律にとらわれない消費者目線」を大切にして、活動をおこなっています。9・10月の活動委員会では、美容製品や健康食品、美容サロン(シミ取り)の広告を中心に、広告の表示改善要望の検討をおこなってきました。

(2) また「2018年度消費者被害アンケート\*めやすばこ」の実施に向けた話し合いをおこないました。今年は「このトラブル、知ってる? しらない?」と題して、現在多く発生している消費者トラブルについての周知を兼ねたアンケートになっています。10月上旬から、県内各地のイベントで配布しています。

### 4. 学習会

(1) 2018年度第2回消費者力アップ学習会「契約トラブルを防ぐには～契約の時にすべては始まっている！～」を、12月4日に浦和コミュニティセンターで開催します。契約に関するトラブルは多く、消費者が契約時に確認さえすれば、防げるものも多くあります。自ら考え方行動する消費者になる一歩となればと企画しました。

### 5. 今後の予定

- 10/29 A C A P(消費者関連専門家会議)との懇談会
- 11/13 11月活動委員会
- 11/14 (株)ディー・エヌ・エー(モバゲー)裁判日(第2回期日)
- 11/16 2018年度第4回理事会、差止請求・被害回復検討委員会
- 11/28 (株)NTT ドコモ 判決言渡し

# フードバンク埼玉シンポジウム 2018 を開催しました

埼玉県生活協同組合連合会

10月10日(水)、埼玉会館3階3C会議室にて、「フードバンク埼玉シンポジウム 2018 ~埼玉のフードバンクの連携を推進しよう~」を開催しました。

開会挨拶は、フードバンク埼玉竹花代表理事より、フードバンク埼玉のこれまでの経緯と現状の報告、今後の体制強化についての挨拶がありました。

続いて、フードバンクの現状についての報告を5団体から行いました。

## 報告①「フードバンク埼玉の現状と課題」

NPO法人フードバンク埼玉 永田信雄理事

これまでの活動報告と、活動の中から見えてきた課題について報告されました。



## 報告②「埼玉県あんしんセーフティネット事業について」

埼玉県社会福祉協議会 生活支援部生活支援課 佐藤恵理香さん

埼玉県内での、実際の支援ケースについて報告いただきました。「フードバンク埼玉さんのおかげで幾つもの命が救われました」との言葉がありました。



## 報告③「埼玉こども食堂ネットワークの取り組みについて」

埼玉県こども食堂ネットワーク 代表 野口和幸さん

子ども支援の立場からの報告と社会が支えるゴールデンフローについての提案がありました。



## 報告④「埼玉県内の生活協同組合のフードバンクの取り組みについて」

埼玉県生活協同組合連合会 理事 大久保美紀さん

日本生協連が立ち上げた子どもの貧困に関する研究会の提言を受けて、埼玉県生協連が県内生協とともにやってきた活動と課題について報告しました。

## 報告⑤「フードバンクネット西埼玉の取組みについて」

フードバンクネット西埼玉 事務局・上山武夫さん

これまでの活動経緯と行政との連携の実績も報告しました。

報告に対する質疑応答を経て、最後に、フードバンク埼玉の岩岡副代表理事から活動の継続とさらなる連携を呼びかけ、閉会しました。

**憲法カフェ開催について**  
～埼玉県生協連 2018年度重点課題「憲法学習」関連～

2018年10月10日 清水桂

**1. はじめに**

4月活動委員会での平和や憲法学習のとりくみについての意見交流を踏まえ、7月に堅十朋子弁護士による憲法学習会を開催し、3生協32人が参加しました。学習会は、その後の地域での憲法カフェ開催など、憲法についての学習の広がりを促進する目的で開催しましたが、改めて、当初提案通り憲法カフェの地域での開催について、以下のように提案します。

**2. 具体的な流れについて**

- (1) 地域での憲法カフェ開催について、これまであまり開催実績のない地域を優先して開催につなげます。講師依頼など、必要に応じて県連が関わりサポートします。  
講師料については、4カ所程度まで県連が負担します。
- (2) 11月末までに、開催場所・日時についてエントリーをお願いします。県連内で調整の上、12月中旬までに、調整の上、開催場所・日時について、お知らせします。  
その際、可能な範囲で、主催生協以外の生協での広報協力をお願いします。

**3. 提案の補足**

今後も活動委員会などの活動交流の場で、それぞれの取り組みの交流を続け、学び合いながら、取り組んでいくものとします。

# 平成 30 年度関東甲信越行政生協関係者連絡会報告

1. 日 時：2018年10月19日（金）13：30-17：00
2. 会 場：日本生協連・コーププラザ13階特別会議室
3. 参加者 行政：1都8県12名（長野県欠席、埼玉県は消費生活課島村主査が参加）  
生協：日本生協連、1都10県28名  
茨城県生協連、栃木県生協連、群馬県生協連、千葉県生協連、埼玉県生協連、  
東京都生協連、神奈川県生協連、山梨県生協連、長野県生協連、新潟県生協  
連、静岡県生協連

## 4. 会議概要

- (1) 當具伸一日本生協連常任理事が開会にあたり、SDGsに協同組合が位置づけられたことやJCA（協同組合連携機構）の発足に触れながら、行政と生協の健全な発展のために一緒に取り組むべき課題を深めていきたいと挨拶しました。
- (2) 瀬口聰氏（厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 消費生活協同組合業務室 生協検査官）米山眞梨子（消費者庁消費者教育・地方協力課 消費者教育推進室長）からご挨拶をいただきました。瀬口氏から、地域社会の住民同士の意識が希薄化しており、互助や助け合いで生協の先駆的役割に期待したいと結びました。次に、米山氏から消費者市民社会の構築のためには、高齢者見守りや助け合いなど生協の強みを發揮することへの期待が述べされました。  
主催県の千葉県から井上容子千葉県環境生活部くらし安全推進課課長、鳥羽治明千葉県生活協同組合連合会会长理事より挨拶がありました。
- (3) 「持続可能な社会の実現を目指した全国の生協の社会的取り組みについて」を伊藤治朗氏（日本生協連渉外広報本部本部長）から報告され、全国生協の事業概況や全国生協の事業・活動を通じた社会的取り組み、生協の福祉、環境、復興支援の取り組みが報告されました。
- (4) 学習講演「世代や立場を超えた地域連携による消費者被害防止について」：辯師徳彦弁護士（消費者庁参与）が行なわれ、高齢者の消費者被害の現状、消費者行政の展開、地域連携による被害防止について述べられ、ネットちばの市町村シンポ活動の紹介やリコールキャンペーン等の取り組みを紹介されました。
- (5) 分散会
  - ①栃木県、千葉県、東京都、山梨県、新潟県
  - ②茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、長野県、静岡県、分散会は2つに分かれ、行政・生協の双方から都県の消費者行政の取り組みと2018年度の重点課題や対策が報告されました。  
埼玉県からは消費生活基本計画の策定や消費生活相談の体制、消費生活講座や消費者教育セミナーなどの消費者教育の実績、悪質事業者への処分件数、消費者団体の育成について報告されました。また、埼玉県生協連から、埼玉県への予算要望と定期協議の開催、県内消費者団体による消費者大会の開催や埼玉消費者被害をなくす会の取り組み等を報告しました。
- (6) 閉会挨拶 二村睦子氏（日本生協連組織推進本部本部長）



以上

## 埼玉消費者被害をなくす会2018年度第4回活動委員会報告

日 時：2018年10月18日（木）10時～12時

場 所：埼玉県生活協同組合連合会 会議室

出 席：葛原、菅、山㟢、前田、安室、渡辺、後藤、吉見、千田、佐藤、佐野、田中、風尾  
(敬称略) 計13名

事務局：加藤、田中

### 【報告事項】

なくす会2018年度第3回理事会（9/28）、第54回埼玉県消費者大会（10/9）、埼玉県からの受託事業関連、申入れ活動の進捗状況を報告、消費者力アップ学習会Vol.2（12/4）、㈱ディー・エヌ・エーに対する差止請求訴訟第2回期日（11/14）の傍聴を案内しました。

### 【協議事項】○：主な意見、協議内容 ⇒：結果

1. ACAP（公益社団法人 消費者関連専門家会議）となくす会との面談（10/29）の参加者を再度募りました。2名が参加し、活動委員会の活動報告を行います。

2. 消費者力アップ学習会 Vol. 3について

○消費者庁表示対策課による、打消し表示に関する実態調査報告を聞く機会があったが、活動委員会の活動にも非常に参考になると思う。

○「インターネット適正広告推進事業」で不当表示であると認められた事例などを報告していただくのはいいと思う。

⇒消費者庁、埼玉県と調整していくこととしました。

3. 広告表示改善要望について

(1)広告表示改善再要望及びお問合せ2件、ご連絡1件を発送したことを報告しました。

うち、健康食品事業者から面談の希望があったため、12月活動委員会意見交換を行うことを確認しました。

(2)本日までに回答のない事業者に対する扱いについて

○新しい広告が投入された後に、再度表示について検討してはどうか。

⇒新たな広告の投入、及び、回答を待つこととしました。

(3)広告チェックを行い、誤解を招く表示、打消し表示の文字が小さい広告などについて、今後改善要望書などを送付することとしました。

### 【その他情報提供・交流】

(1)消費者被害アンケート・めやすばこについて

- コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ（10/14・日）で、午前3名、午後1名の活動委員と事務局にて対面調査を実施、112枚回収。委員より、「とてもいいアンケートですね」との声をいただいたと報告がありました。

- 大学生協でアンケート調査については、埼玉県生協連大学部会を通して調整中です。

- なくす会団体会員には今後協力を要請することを報告しました。

(2)なくす会ニュースレター第75号を配布、消費者庁、国民生活センター、埼玉県、業界紙などの注意喚起情報などを提供しました。

### 今後の予定

第5回：11月13日(火) 10時～12時 埼玉県生協連会議室

第6回：12月10日(月) 10時～12時 埼玉県生協連会議室 終了後昼食懇親会を予定

事前送付	<b>埼玉県生協連2018年度第2回活動委員会</b>	
日時	2018年10月25日(木) 13時30分~16時00分	
場所	埼玉県生協連 会議室	
出欠	別紙参照	
次 第	1. 会長理事挨拶	2. 出欠報告(事務局)

### ■議題

- ・会長あいさつ

#### I. 話し合いたいこと

1. 活動委員会での意見交換・交流について
  - (1) 「子どもの貧困」「平和・憲法」について各会員生協の取り組みか 事前別冊  
ら学ぶ
  - (2) 2018年度役職員研修会(11/15)等の取り組みの確認 事前別冊
  2. 9-10月活動報告書と各会員生協資料 当日別冊

- II. 日本生協連からの報告(中央地連) 当日別冊

#### III. 確認したいこと

1. 第54回埼玉県消費者関連
  - (1) 第54回埼玉県消費者大会(10/9)速報 事前送付P1
  - (2) 埼玉県市町村における消費生活関連事業調査結果報告 当日別冊

#### IV. 報告したいこと①(事前送付部分は、一括して報告)

1. 消費者関連問題の取り組みについて
  - (1) 消費者に関わる行政や各団体の取り組み 事前送付P2
  - (2) 埼玉消費者被害をなくす会の取り組みと今後の課題
    - ①消費者被害めやすばこアンケートのお願い 事前送付P3~5
    - ②消費者力アップ学習会 Vol.2(12/4) 事前送付P6
  - (3) 埼玉県受託事業関連(なくす会) 事前送付P7
2. 食の安全行政の充実・強化関連
  - (1) 食の安全に関わる行政や各団体の取り組み 事前送付P8
  3. フードバンク埼玉の取り組み 当日配布
  4. 助け合い活動交流会(1/17)について 事前送付P9
  5. 2018さよなら原発埼玉県民集会関連 事前送付P10~11
    - (1) 実行委員会(9/11)報告、県民集会(10/7)報告
  6. 平和の取り組み関連
    - (1) 第3回埼玉県原爆死没者慰靈式(7/29)報告関連 事前送付P12
    - (2) 2018平和のための埼玉の戦争展(7/28~30)報告 事前送付P13
    - (3) 平和・市民5団体懇談会(8/29)報告 事前送付P14
    - (4) ヒバクシャ国際署名関連 事前送付P15
    - (5) 2018ピースアクションinヒロシマ(8/4~6)報告 事前送付P16
  7. 平成30年度九都県市合同防災訓練(8/26)報告 事前送付P17
  8. 2018年度「体験稻刈り＆田んぼの生きもの調査」(9/15)報告 事前送付P18
  9. 平成30年度関東甲信越行政生協関係者連絡会(10/19)報告 当日配布

#### V. 報告したいこと②(文書報告)

1. 第2回理事会(9/13)報告 事前送付P19
2. 第2回監事會(9/6)報告 事前送付P20
3. 第1回活動委員会(8/30)報告 事前送付P21

- 4. 埼玉消団連
  - (1) 幹事会 (9/19) 報告 事前送付 P 2 2
  - 5. 埼玉消費者被害をなくす会
    - (1) 消費者力アップ学習会 Vol. 1(8/28) 報告 事前送付 P 2 3
    - (2) 第3回活動委員会 (10/18) 報告 当日配布
  - 6. 活動日誌と予定 事前送付 P 2 4～2 5

## VI. 参考資料

- 1. 労福協～多重債務者無料相談会 事前配布 P 2 6～2 8

第3回活動委員会は、12月13日（木）14：30～17：00 市民会館うらわ7階

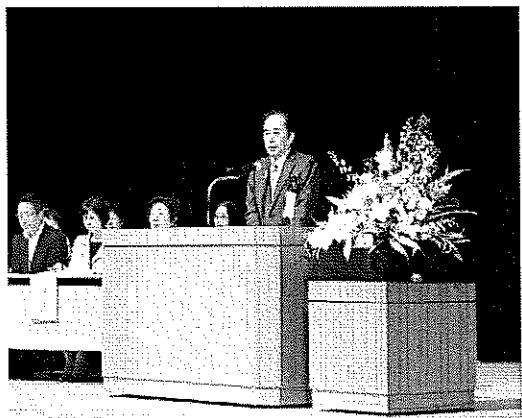
※埼玉県生協連「組合員活動交流会」同日開催 10：30～14：30

〃

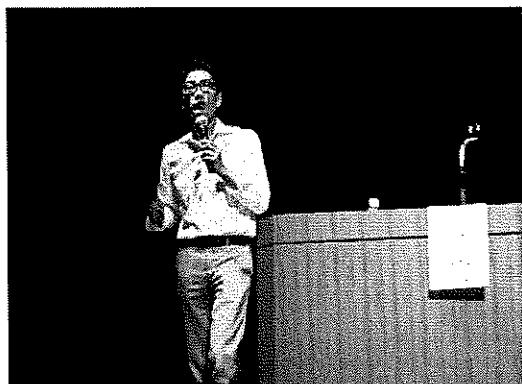
# 第 54 回埼玉県消費者大会報告（速報）

2018 年 10 月 9 日 埼玉県消費者大会実行委員会

## 全体会には約 700 人が参加しました



上田埼玉県知事ごあいさつ



湯浅誠氏記念講演

「自ら考え行動する消費者になろう～誰ひとり取り残さない平和な社会を目指して～」を大会スローガンに、10 月 9 日（木）に埼玉会館で、第 54 回埼玉県消費者大会が開催されました。

開会 30 分前から、実行委員会団体の活動紹介を上映しました。開会に際し、実行委員会を代表して柿沼トミ子実行委員長のあいさつ、続いて来賓の上田清司知事よりごあいさつをいただきました。その後、実行委員会で論議を重ね確認した「基調報告」「埼玉県への要請書」を岩岡事務局長から提案しました。

記念講演では、湯浅誠さんに「子どもの貧困の現状と、私たちが考えなければいけないこと」と題してお話しいただきました。湯浅さんは、7 人に 1 人とされる子どもの貧困の潜在化について指摘され、「貧困の連鎖を生み出すような地域にしてはいけない。県内 123 カ所で開催されている『子ども食堂』への多くの大人の参加が‘いるだけ支援’になり手助けになるので、ぜひ行って交流してみてほしい」とかかわりを呼びかけました。

最後に大会アピールを確認し、全体会を終了しました。なお、大ホールホワイエにて、実行委員会団体の活動紹介パネルを展示しました。

## 午後は、4 つの分科会に 397 人が参加しました

午後は次の 4 つの分科会が開かれました。それぞれの助言者の報告、各団体の取り組み、参加者の意見交流・質疑などを起こない、各テーマを深めました。

食	「おいしい埼玉！畜産物をめぐる国内外の現状」	78 人
消費者課題	「成年年齢が引き下げになると、何が起きる？」	51 人
社会保障	子どもの貧困の現状を考える 「さとにきたええやん」 映画上映	190 人
環境	「再生可能エネルギーの現状とこれから」	78 人

食～助言者 新川修一さん



消費者課題～助言者 保足和之さん



環境～講演 大島利明さん



# 消費者に関する行政や各団体の取り組み

2018年9月19日 埼玉県消費者団体連絡会

## 1. 若者の消費者被害の心理的要因からの分析に係る検討会が報告書をまとめた

29年度消費者白書でも取り上げられた大学生等のマルチ商法被害が増加傾向の中、消費者庁としては若者の被害について大変重要な課題として、なぜ若者が消費者被害に遭うのかについて、心理面から基礎的な議論検討を行うことを目的に「若者の消費者被害の心理的要因からの分析に係る検討会」が開催されてきました。若者の消費者被害について、ヒアリング調査等を通じて被害の現状、被害にあう要因等を主に心理的要因から調査分析し、対応策を検討した結果がまとめられました。別紙参照

### ※購入や契約の判断をおこなう際に考えるべき6つの視点と警戒すべき内容※

1	商品・サービス価値への評価	● 本当に必要なものなのか ● 購入・契約する価値があるものなのか
2	勧誘者への評価	● 勧誘者は信頼できるのか ● 信じる根拠は充分か
3	場の拘束感への評価	● 買わないと相手に失礼であると感じたり、自由を束縛された場の雰囲気に影響されていないか
4	否定的側面への評価	● 勧誘内容に否定的に感じる部分はないか
5	強引な要請への評価	● 強引な要請への評価 勧誘者から購入・契約することを強制されて、判断に影響を受けていないか
6	説明への納得感	● 勧誘内容を適切に理解し納得できたか ● 勧誘者の説明は本当に正しいものか

## 2. 特定非営利活動法人消費者支援かながわが、適格消費者団体に認定されました

8月3日、消費者契約法の規定に基づき「特定非営利活動法人消費者支援かながわ」が適格消費者団体として新たに認定されました。これで全国の適格消費者団体は19団体となりました。今後、消費者契約法、不当景品類及び不当表示防止法、特定商取引に関する法律及び食品表示法の規定による差止請求権行使することが可能となります。

## 3. LPガス利用料金上乗せなど、全国調査へ

資源エネルギー庁は、LPガスを利用する賃貸アパートなどの居住者が不透明な料金を払わされているケースがあるとして、消費者を対象に初の全国調査を実施します。2017年2月に液化石油ガス法の省令の一部改正して、請求書にはガス利用料金とその他を分けて表記することと明記しましたが、今回の調査ではその実態を検証します。資源エネルギー庁は、業界の一部業者が営業経費を上乗せし「ガス利用料」を請求していると見ています。不透明な契約のはじめに動くきっかけとなったのは電力、都市ガスの小売全面自由化です。調査に加えて入居者に注意喚起する契機としたいとしています。

## 4. 埼玉県信金で架空取引の疑いで調査

金融庁は、埼玉県信金が過去2年間にわたって海外送金した18億7000万円について、マネーロンダリング資金洗浄に利用された疑いがあるとして、9月中旬にも立ち入り検査する方針を固めました。送金目的は「仲介貿易」とし、送金先は香港が最も多く、アラブ首長国連邦、インドネシア、台湾、ブラジルも含まれていました。金融庁は、営業実体のない企業との取引として、信金のチェック体制に重大な不備があるとしています。

## 5. 処分情報 消費者庁など 景表法にもとづく措置処分 1件

2018年10月吉日

埼玉県生活協同組合連合会  
会員生協 各位

特定非営利活動法人  
埼玉消費者被害をなくす会  
専務理事 岩岡 宏保

## 「消費者被害アンケート・めやすばこ」配布協力のお願い

秋冷の候、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃より当会の活動にご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、皆様には、毎年多大な協力をいただいておりますが、今年度も下記のように情報収集活動として“消費者被害アンケート・めやすばこ”をおこなうこととなりました。

つきましては、組合員活動の場面や、職員の方へのアンケート実施について、ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

### 記

内 容：消費者被害情報の収集活動「消費者被害アンケート・めやすばこ」  
【これ、知ってる？知らない？】

目 的：①消費者・消費者団体・地域へ被害防止の活動を広げる。  
②さまざまな消費者トラブルについての認識度を調査し、集計結果をもとに、  
今後のなくす会の活動につなげる。

配布回収：回収後、なくす会まで送付願います。

回収期限：12月10日（月）

※委員会などの日程で回収期限に間に合わない場合は、下記までご連絡  
ください。

この件に関するお問い合わせは、事務局までご連絡下さい。

埼玉消費者被害をなくす会 事務局 加藤・田中  
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-11-5  
TEL 048(844)8972  
FAX 048(829)7444

# 《このトラブル、知ってる？知らない？》



【Q 1】回答者の年代 ⇒ 20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

【Q 2】回答者の性別 ⇒ 女性 ・ 男性

【Q 3】インターネットをめぐるトラブルが多発しています。主なトラブル①～⑥について、  
それぞれ当てはまる箇所に○をつけてください。

トラブル事例	似た事例の場合も○を付けて結構です。	知っている	被害にあったことがある	知らない
①初回お試し 100円という広告を見て注文した。実は 6回購入が条件であると小さな文字で書いてあり、 総額 24,993円の請求が来た。				
②〇日間は返金可能とあったので返金を申し出たが、 返金を受けるには難しい条件がたくさんあった				
③代金を振り込んだのに商品が届かなかったり、届いた 商品が偽ブランドだったりした				
④注文する時に記入した個人情報が知らない業者に漏え いしてしまった				
⑤副業で月 10万円は確実に稼げるとあり申し込んだ。 高額の契約金を支払ったのにまったく儲からないので 解約したいが、連絡がとれず、返金もされない				
⑥有料サイト利用料をすぐに支払えというメールや通知 書が来て身に覚えがないので連絡したところ、裁判に なると言われお金を支払ってしまった				

【Q 4】約款について、お聞きします。あてはまる□に✓してください。

①事業者と契約する際に渡される「約款」（詳しい契約条項）は

よく読む 少し読む あまり読まない ほとんど読まない

②あまり読まない、ほとんど読まないと回答した方へ、その理由は（複数回答可）

字が小さくて読めない 難しそう 理解しなくても大丈夫だと思うので

量が多い 読むのが面倒 何が書いてあるのかよくわからない

その他（ ）

③何かトラブルになった時に、事業者側から「約款に記載してあるから」対応できないと言われたことはありますか。当てはまる□に✓してください。

ある ない わからない

→ 概要を可能な範囲でお書きください

【Q 5】現在でも、20歳になったとたんに様々なトラブルに遭う若者がいます。以下のようなトラブルが実際あることを知っていますか？当てはまる箇所に○を付けてください。

トラブル事例	知っている	知らない
①エステの無料体験を受けたあと、全身痩身コースを勧められた。 支払えないと断ったが、クレジットカードの契約をせかされた		
②無料相談の広告を見て美容医療クリニックに行ったら、即日施術され、高額の請求を受けた		
③先輩に誘われて投資の契約をした。3人誘えば元が取れると 言われ100万円を借りたが、解約し、返金してほしい。		
④就職に役立つセミナーだとしつこく誘われて契約してしまった		
⑤儲かる情報を提供するというサイトで契約したら、数十万円の 請求を受けた		

【Q 6】現在は未成年者取消権があり、18歳・19歳は上記のようなトラブルにあっても、基本的には取り消すことが可能です。民法の改正により、2022年4月から成人になる年齢が18歳に引下げになると、18歳・19歳は取消しの対象外となります。18歳の高校生でもこんなトラブルに遭う可能性があることを

- 知っている    あまり知らなかった    全く知らなかった  
（ご自身・ご家族）が20歳になった時に被害にあったことがある

【Q 7】情報提供や相談先について以下の団体・窓口を知っていますか。当てはまる箇所に○を付けてください。

被害を受けたときの相談先	知っている	相談したことがある	知らない
①消費生活支援センター（埼玉県の窓口）			
②地元市町村の消費生活センター			
③国民生活センター			
④消費者ホットライン「188」			

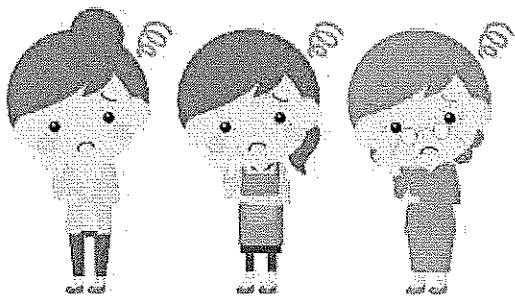
消費者被害の未然防止や、金銭的な消費者被害を回復するために活動している団体	知っている	情報提供したことがある	知らない
①適格消費者団体			
②特定適格消費者団体			
③埼玉消費者被害をなくす会			

«消費者トラブルを、なくす会まで情報提供お願いします» TEL 048-844-8972

わかりにくい広告、消費者に不利なことが書かれている契約書や利用規約はありませんか？  
 不なくす会まで情報提供お願いします（事業者名、何時ごろか、トラブルの概要）



# 解約トラブルを防ぐには ～契約の時にすべては始まっている！～

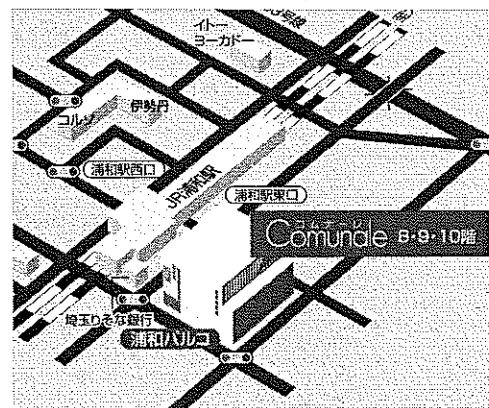


- 通信販売で健康食品を申し込んだ。解約しようとしがが、返金も返品も出来なかった
  - 成人式の着物レンタルを申し込んだ。解約しようとしたらキャンセル用が高額だった
  - 子どもが親に無断で高額の課金をしてしまった。生年月日を偽っていたため返金されなかった
- ⇒ こんな解約トラブルを防ぐには、最初が肝心！  
契約の時に注意することなどを学びます

2018年 12月4日 (火)

10:00~12:00

講師：松苗 弘幸 弁護士



## 浦和コミュニティセンター第13集会室

JR 浦和駅 東口徒歩1分 (浦和パルコ上 コムナーレ10階)

駐車場 あり (有料)

定 員 80名 (要申込み)

主 催 適格消費者団体 特定適格消費者団体

特定非営利活動法人 埼玉消費者被害をなくす会

参加費無料



### 《お申込み・お問い合わせ》

特定非営利活動法人 埼玉消費者被害をなくす会

TEL 048(844)8972 FAX 048(829)7444

# 埼玉県受託事業報告

2018年10月18日

埼玉消費者被害をなくす会 青木和彦

## 1.消費者被害サポーター活動推進事業（サポーター登録累計 649人）

### （1）<サポーター養成講座>

講義テーマ

「地域の消費者被害を防ぐには～消費者被害防止サポーターの役割～」講師：弁護士・司法書士  
「悪質商法・消費者被害の実例を学ぶ」 講師：消費生活相談員

9月開催：7日188の会 東松山市（参加22人 登録8人）



○参加者感想 ・サポーター、埼玉県の状況、消費者被害の事例等  
知ることができて、極めて有意義でした。

：21日飯能市（参加20人 登録12人）

○参加者感想 ・被害の報道が毎日のようにされている今日、事前に知る事の大切さを知  
りました。役に立てればと思います。

：28日パルシステム ぱるてらす（参加9人 登録6人）

○参加者感想 ・自らが本当に勉強になりました。（自分自身が詐欺に会うような気がし  
て本当に学べました）

### （2）<福祉見守り担当者講座>

講義テーマ 「地域の消費者被害を防ぐには」 講師：弁護士

9月開催：28日熊谷市（参加33人 民生委員、社協、地域包括センター等）

○参加者感想 ・高齢者の方々の見守り時、いろいろな状況に気をくばりながら訪問し  
ようと強く思いました。

## 2.高齢者等見守り促進事業（市町村訪問 6件）

9月訪問：3日横瀬町、長瀬町、美里町 11日滑川町、吉見町 26日川口市

## 3.インターネット適正広告推進事業

### （1）<インターネット広告調査>

9月度は「美容関連」をテーマに1,305件検索し、不当表示と思われる表示22件を県に提出  
しました。

### （2）<不当表示の見分け方講座>

講義テーマ 「不当表示の見分け方講座」 講師：弁護士

参加人数：85人

8月開催：21日熊谷会場11人（内行政担当1人） 26日川越会場36人

9月開催：7日越谷会場28人 7日さいたま会場11人 12日所沢会場5人

○参加者感想 ・本日はありがとうございました。日常生活のいたるところに広告があり、  
その内容があいまいでわからないことが多い現状です。特に最近はインターネットによる  
商品の購入がさかんですぐにクリックすれば自宅に商品が届く便利さに家族などもネット  
ショッピングを利用していますが、便利のうらには危険が沢山、あぶないことが沢山で  
す。今後も学習していきたいと思います。

# 食の安全に関する行政や各団体の取り組み

2018年9月 埼玉県消費者団体連絡会

## 1. この間の動きと取り組み（消費者庁・埼玉県）

### (1) 消費者庁・「健康と環境に配慮した適量のすすめ」を作成しました

消費者庁は、食品の選択・消費に関して、栄養成分表示を使って肥満とやせを防ぐ、もったいないを意識して食品ロスを減らすことを中心に、実践の際に注意すべき食品安全のポイントについて言及し「健康と環境に配慮した適量のすすめ」を作成しました。別紙参照

### (2) 特別用途食品の表示許可等に関する国の告示・通知の見直しについて

乳児用調製粉乳、乳児用調製液状乳、えん下困難者用食品、とろみ調整用食品の特別用途食品の表示許可等について、乳児用 液体ミルクが母乳代替食品として適する旨の表示するための特別用途食品の許可基準を策定し改正しました。特別用途食品の表示については、病者用食品、妊産婦、授乳婦用粉乳、乳児用調製乳及びえん下困難者用食品（とろみ調整用食品を含む。）に係るものを健康増進法（平成14年法律第103号）第26条第1項の許可の対象とするとしています。

### (3) 伊丹市の精肉会社「マエダ食品」が原産地表示、個体番号も偽って牛肉販売

兵庫県は、牛トレーサビリティ法に抵触するとして、伊丹市の精肉会社「マエダ食品」に改善を指示しました。県によると、同社は1992年の開業以来、食品表示法が定める「国産牛丼」「外国産豚肉」などの表示をせずに販売していました。また、同社は牛肉の個体識別番号を偽って販売をおこなったおり、近畿農政局が牛トレーサビリティ法に基づく是正勧告をおこなっています。同農政局によると、2016年9月から今年6月にかけて店頭で販売した牛のロース肉やモモ肉など約39トン分に、過去に販売した黒毛和牛2頭の個体識別番号を使い回していたとのことです。同社は「原産地表示は必要ないと思っていた。個体識別番号表示は不要になったと思い、忙しくてそのままにしていた」としています。

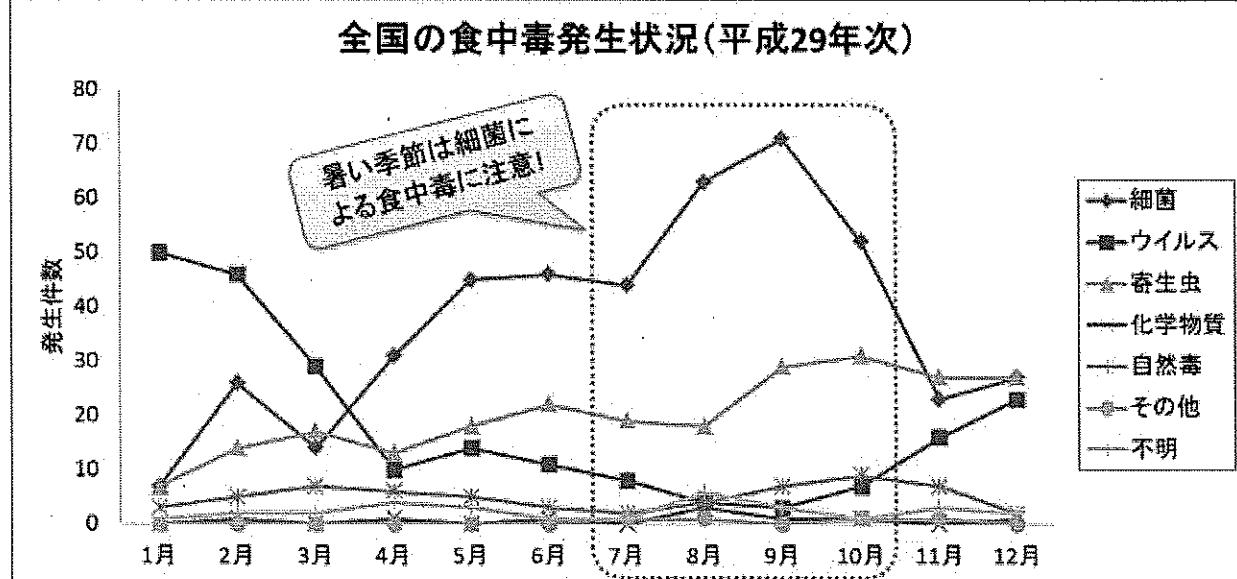
### (4) 秋田県で学校給食用食材から大腸菌を検出し、回収へ

秋田県は29日仙北市の食品加工会社「アルク」が学校給食用に製造した「冷凍かぼちゃ」に対して商品を回収するよう命じました。28日、この商品の抜き打ち検査により一部から大腸菌が見つかり、仙北市を管轄する大仙保健所が29日、食品衛生法に違反しているとして、去年10月に製造した「冷凍かぼちゃ」1,500袋余りを回収するよう命じました。すでに1,300袋あまりは、秋田県内各地の小中学校で給食の材料としてすでに使用されたというですが、学校給食では、加熱して提供しているため、健康被害のおそれはないとのことです。

### (5) 食中毒発生のピークは9月です。ご注意ください

冷蔵庫はランプがついても、正常に動作しているとは限りません。どんな機械でもいつかは壊れます。大切なのは実測で、10℃以下を確認すること。過信せず予防が大切です。できることは作る人も、食べる人も今日から始めましょう。

全国の食中毒発生状況(平成29年次)



## 2. 今後の動きや取り組み（埼玉県・埼玉消団連）

特になし

# 埼玉県生協連 2018年度助け合い活動交流会の実施について

2018年10月18日 埼玉県生協連

## 1. はじめに

- (1) この間おこなってきた、埼玉県生協連「助け合い活動交流会」では、活動の共有、地域での連携には、継続した活動交流の機会が重要であることを確認してきました。
- (2) また、地域レベルでのつながりづくりの重要性が指摘され、所沢市・川口市や蕨市を中心とする地域では、地域別の交流会を開催してきました。
- (3) 今年度は、地域における高齢者の見守りについての学習をおこなうとともに、引き続き、生協の枠を越えてつながり、豊かな地域づくりを実践していくために、交流会の開催を提案します。

## 2. 実施内容

日時	2019年1月17日（木） 10時30分～14時30分（12時半目安に昼食）
会場	さいたま市民会館うらわ 7F会議室
テーマ	地域の中で高齢者が置かれている状況を知るとともに、助け合いの活動の相互理解を更にすすめ、生協の枠を越えた、豊かな地域づくりについて考えます。
内容	①地域における高齢者の見守りに関する学習会 ②2018年度の活動状況の報告と、活動地域にわかつた交流
対象	助け合い活動の援助の調整をおこなっている方（コーディネーター層） 活動に関わっている組合員理事や役職員
定員	70人
申込	埼玉県生協連事務局へご連絡ください

## 3. 当日のスケジュール（予定）

- 10時30分～ 開会・学習「地域における高齢者の見守り」  
12時30分～ 昼食休憩  
13時15分～ グループ交流  
14時30分 閉会

## 4. お願いすること

- (1) 2018年度の活動についての報告を中心に、各生協・団体に報告したいことをまとめた資料のご準備をお願いします。報告についてはグループにわかつた交流で使用することを基本とし、全体での報告については、今後、検討させていただきます。なお、報告資料については、1月10日を目安に、事前に埼玉県生協連事務局に事前にお送りください。
- (2) グループの交流では、できる限り同じ地域の方が同じグループで交流できるようにしたいと思っています。活動範囲としている地域全域からご参加いただけるように、お声掛けをお願いします。

## 5. その他

当日の会場までの交通費については、各会員生協でご負担ください。昼食につきましては、埼玉県生協連でご用意します。

## 「2018さよなら原発埼玉県民集会」第5回実行委員会 報告

日 時：2018年9月12日（水）15時00分～16時00分 埼玉県生協連・会議室  
参加者：埼玉県原爆被害者協議会(田中・久保山・佐伯)、埼玉県生活協同組合連合会(岩岡・大久保・今野)、原水爆禁止埼玉県協議会(佐藤・諸井)、埼玉土建一般労働組合(島野)、脱原発埼玉連絡会(白田)、埼玉うたごえ協議会(小山)、パルシステム埼玉(服部)、生活クラブ(下川)、非核の政府を求める埼玉(水谷)、市民じや～なる(長内)  
(敬称略)10団体 15人

### 【議題】

#### 1. 報告事項

- (1) 第4回実行委員会～事務局より報告した
- (2) 賛同状況（名簿参照）
- (3) 県内脱原発活動団体紹介(パンフレット)
  - ・実行委員会団体：19、地域団体：25 計44団体（昨年46団体）
- (4) 会館打合～事務局3団体にて対応。

#### 2. 協議事項

- (1) 2018さよなら原発埼玉県民集会
  - ・場所：市民会館おおみや
  - ・日時：10月7日（日）
    - ①県内団体交流会 10時～12時 [第5集会室]
    - ②2018さよなら原発埼玉県民集会 14時～16時30分 [大ホール]
      - [スケジュール]
        - 13:50～アトラクション「埼玉のうたごえ協議会」→「群青」小高中学校
        - 14:00～司会(大久保美紀さん)、田中熙巳実行委員長挨拶
        - 14:10～記念講演 講師：金子勝さん（質疑含め90分）
          - 「地域分散ネットワーク型の経済へ
          - ～原発を続けると日本経済は沈没する～」
        - 15:40～<休憩10分>
        - 15:50～東海第二原発の運転延長についての報告(20分)（大石光伸さん）
        - 16:10～埼玉県議会の意見書採択についての報告(10分)（平和運動センター）
        - 16:20～カンパの訴え(佐藤俊一さん)
        - 16:24～集会アピール採択(しらさぎ会佐伯博行さん)
        - 16:28～閉会挨拶(岩岡宏保さん)
        - 16:30終了
- (2) プログラム・団体紹介、アピール(案)は、9/21(金)までに集約〆切。  
プレスリリースは、午前の部の紹介、実行委員会団体名とこの間の流れを資料添付。  
配布・販売等の申し合わせ事項を実行委員会で確認。  
電気事業の展示は3生協が出展予定。ロビー配置は現場合合わせ。

#### 3. 実行委員会日程

- ・第6回実行委員会 11月7日（水） 15時～ 埼玉県生協連  
内容：まとめ

#### 3. その他

- (1) ご後援のお願い～柏崎刈羽原発再稼働を止めようフォーラム(11/23)→実行委員会名で賛同を確認。

#### 4. 事務局連絡

- ・第6回実行委員会 11月7日（水） 15時～ 埼玉県生協連1階会議室

## 2018さよなら原発埼玉県民集会報告

2018さよなら原発埼玉県民集会実行委員会

10月7日(日)、14時より「2018さよなら原発埼玉県民集会実行委員会」の主催で「2018さよなら原発埼玉県民集会」がさいたま市民会館おおみや大ホールで開催され、約800人が参加しました。金子勝氏による記念講演では「地域分散ネットワーク型の経済へ原発を続けると日本経済は沈没する」をテーマにご講演いただきました。

なお、実行委員会は脱原発を求める県内の18団体・1個人で構成しました。

### ■午前の部 「県内団体交流会」

同日午前10時から、県内で脱原発や避難者支援、再生可能エネルギーの普及に取り組む県内団体交流会を実施し、18団体26人が参加しました。

### ■午後の部 「2018さよなら原発埼玉県民集会」

午後1時50分、埼玉うたごえ協議会による「群青」「いのちうたおう」の合唱でオープンし、14時から大久保美紀氏(埼玉県生協連)の司会により、田中熙巳実行委員長が開会の挨拶をしました。金子勝氏の熱弁が会場を沸かせ「日本の家電や携帯、半導体がボロボロになり、原発という不良債権で東芝がダメになってしまった。メインフレーム集中型から地域分散ネットワークへの転換が必要だ」と述べ「今後のエネルギーはAIとIOTが連動するオープンなグリッドシステムへの転換を目指そう」と呼びかけました。

次に、「東海第二原発の運転延長について」を大石光伸氏(「東海第二原発運転差止訴訟」

原告団共同代表)から、「すでに日本電源は債務超過で経営破たんしたが資本注入で生き延びた。しかし再稼働しても借金は返せず、電気料金に跳ね返る」とし、古い原発再稼働の突破口とする狙いを明らかにしました。

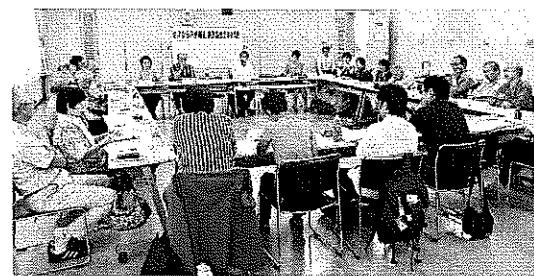
さらに、白田真希氏(原発再稼働に反対する埼玉連絡会共同代表)は、「埼玉県議会の再稼働意見書について」は県民の意向を無視するもので、議会最終日に抜き打ちで採択されたことを告発しました。

募金のお願いを佐藤俊一氏(原水爆禁止埼玉県協議会)、集会アピールを佐伯博行氏(埼玉県原爆被害者協議会)、閉会挨拶を岩岡宏保(埼玉県生活協同組合連合会)が行ない閉会しました。【募金額26万1208円】

なお、ホワイエにて再エネ電気事業を展示(3生協)しました。



金子勝氏記念講演会



県内団体交流会



埼玉のうたごえ協議会



オープニング  
田中熙巳実行委員長



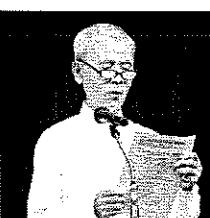
金子勝氏の熱弁



大石光伸氏  
白田真希氏



佐藤俊一氏



佐伯博行氏



岩岡宏保氏

# 第33回埼玉県原爆死没者慰靈式報告

埼玉県原爆被害者協議会（しらさぎ会）

開催日 7月29日(日)9:45-11:00 浦和コミュニティーセンター「多目的ホール」(パルコ10階)  
主 催 埼玉県原爆被害者協議会  
協 力 実行委員会(17団体)  
後 援 埼玉県・埼玉県教育委員会  
さいたま市・さいたま市教育委員会  
参列者 250名

県内被爆者76人を含む、県内原爆死没者1,529名を祭壇に奉納し弔意をささげました。



式次第 司会 埼玉県生活協同組合連合会 大久保美紀様

「追悼合唱」折り鶴(埼玉合唱団)、「開式のことば」(佐伯事務局次長)、「原爆死没者名簿奉納」(埼玉県保健医療部芦村達哉課長)、「しらさぎ会物故者紹介」(上野知子理事)「平和のともしび」(江浦事務局次長)、「黙禱」(全員)、「慰靈のことば」(田中熙巳会長)、「来賓あいさつ」(埼玉県知事上田清司様代理埼玉県保健医療部疾病対策課課長芦村達哉様、さいたま市長清水勇人様代理さいたま市総務課課長穂刈浩様、自由民主党衆議院議員村井英樹様、立憲民主党高木鍊太郎様、国民民主党小宮山泰子様、日本共産党衆議院議員塩川鉄也様

<ご来賓参列者紹介・35名>

久喜市議会副議長園部茂雄様。衆議院議員・村井英樹様、高木鍊太郎様、小宮山泰子様、塩川鉄也様。参議院議員・大野元裕。衆議院議員牧原秀樹様秘書宮崎吾一様、衆議院議員三ツ林裕巳様秘書志村賢一様、参議院議員西田実仁様秘書吉田正様。埼玉県議会議員・浅野目義英様、木村勇夫様、高木まり様、山本正乃様、柳下礼子様、村岡正嗣様、前原かづえ様、金子正江様、藤井健志様。社会民主党埼玉県連合中野昭様。さいたま市市議会議員・富田かおり様、守谷千津子様、松村敏夫様。マスコミ・読売新聞西部本社牟田口洸介様、埼玉新聞社編集局長吉田俊一様。

この他、テレ玉、読売新聞、毎日新聞、埼玉新聞、しんぶん赤旗の取材がありました。

団体・NPO 法人埼玉県障害者協議会理事國松公造様、埼玉県保険医協会理事長／埼玉反核医師の会代表委員大場敏明様、埼玉県保険医協会事務局主査森谷ゆかり様、埼玉県民主医療機関連合会事務局長高橋正巳様、浦和民主診療所所長肥田泰様、埼玉県労働組合連合会議長伊藤稔様、埼玉県高等学校教職員組合中央執行委員長新島善弘様、非核の政府を求める埼玉の会事務局長水谷一恵様。

「追悼メッセージ披露」広島市長松井一實様(代読)、長崎市長田上富久様(代読)、日本被団協(代読)。この他、メッセージ・首長関係13名、議長関係4名、国会議員関係11名、埼玉県議会議員3名からいただきました。その他、コープ野村浦和自治会様、被爆者団体から東友会、神奈川県原爆被災者の会、千葉県原爆被爆者友愛会、山梨県原水爆被爆者の会からいただきました。

「献花・折り鶴奉納」田中会長、埼玉県知事代理、さいたま市長代理、久喜市議会副議長について、埼玉県地域婦人会連合会副会長植田富美子様、埼玉県生活協同組合連合会会长理事岩岡宏保様、原水爆禁止埼玉県協議会代表理事加藤ユリ様、埼玉県平和運動センター議長持田明彦様の順で奉納。その後順次全員で献花、折り鶴奉納を行いました。

「被爆の証言 朗読」被爆体験聞き書き行動実行委員会がまとめた被爆体験を、女優の斎藤とも子さんが朗読しました。

「原爆を許すまじ」核兵器廃絶の想いを込め全員で合唱。

「閉式のことば」(原明憲事務局長)

連絡先 〒335-0004 埼玉県蕨市中央1-27-9

埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)

☎ 048-431-6521

# 2018「平和のための埼玉の戦争展」が開催されました

～戦争の真実と向き合い、平和の尊さを学ぶ／YES PEACE 2018

1984年以来「平和にいきる知恵と力」を育む場として、今年で第35回目を迎えた「2018平和のための埼玉の戦争展」が、7月28日(土)～7月30日(月)3日間、浦和コルソ7階ホールで開催され、6,700人を超える参観者がありました。

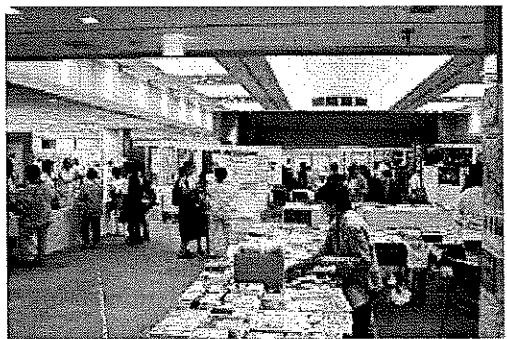
7月28日(土)、10時30分のオープニングにはノーベル平和賞を受賞した I C A N 川崎哲さんによる「核兵器のない世界をめざして」の記念講演が行なわれました。台風接近にともなう豪雨に見舞われ、午後の参観者の足がぱったりと途絶えるなど出足が危ぶまれましたが、29日の日曜日は、その杞憂を吹き飛ばすように終日にわたって大盛況となりました。

今年は、「明治150年を検証する」コーナーをはじめ、「核兵器禁止・廃絶をめざす世界の流れ」「沖縄から平和を考える」「埼玉の基地・空はいま…」「戦争をしなく国で、いま…」「憲法をくらしに生かして」「戦争とメディア」「原爆と原発を考える」など、ほぼすべてのコーナーでパネルを一新。朝鮮半島をめぐる南北首脳会談・米朝首脳会談をはじめ、沖縄・辺野古における米軍新基地建設をめぐる工事状況、埼玉へのオスプレイ飛来問題など、直近の出来事も紹介するホットな展示となりました。

コープみらい平和クラブ連絡会は、「こんなにある沖縄の米軍基地」「埼玉の基地・戦跡・資料館」「ふるさとさいたま平和マップ」等の展示と「平和クイズ」を実施しました。

埼玉県生協連は常任団体として参加、会員生協とともに期間中の受付係と展示物の搬入搬出、分担協力金の協力をしています。

埼玉の戦争展は、1981年に、埼玉県原爆被害者協議会、埼玉県婦人会連合会、埼玉県生協連、埼玉県連合青年団が共同で開催した「母と子の原爆写真展」をその母体として、県内の労働組合や多くの団体が参加して実行委員会を作り、「平和をもとめる県民運動」として開催されてきました。



## 第86回平和・市民5団体懇談会 報告

日 時：2018年8月29日(水) 13:02～13:45

場 所：埼玉県生協連 会議室

参加団体：埼玉県原爆被害者協議会(田中熙巳会長、久保山栄典副会長、高橋溥事務局次長)

(敬称略) 埼玉県地域婦人会連合会(森 和江副会長、吉田裕美子事務局長)

原水爆禁止埼玉県協議会(佐藤俊一事務局長、諸井武志理事)

埼玉県平和運動センター(金子彰副議長、中島修)

埼玉県生活協同組合連合会(司会:岩岡宏保会長理事、今野)

(下線欠席)

### ■議題

#### 1. 第85回報告

事務局より報告

#### 2. 第33回埼玉県原爆死没者慰靈式(7/29)報告

事務局より報告し、次回に生かす点を述べあった。

#### 3. 第4回実行委員会(8/29)表紙(案)

特に修正の指摘なし

#### 4. 今後の日程

##### (1) 平和・市民5団体懇談会

10月24日(水)14:00～埼玉県生協連・会議室

##### (2) 第7回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会

10月24日(水)15:00～埼玉県生協連・会議室

#### 5. その他

##### (1) なし

## 第7回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会報告

日時：2018年9月12日（水）13:35～14:50埼玉県生協連会議室

参加団体：埼玉県原爆被害者協議会（しらさぎ会）、埼玉県生活協同組合連合会、原水爆禁止埼玉県協議会、コープみらい、医療生協、生活クラブ、埼玉県労働組合連合会、反核医師の会  
8団体12人

### 1. 挨拶・報告 田中 熙巳代表（しらさぎ会会長・日本被団協代表委員）

8月6日にヒバクシャ国際署名全国交流会が開催され、新たな提起として、国連に被爆者2名を派遣し、支援カンパを募ることになった。

### 2. 報告

①8/1 第1回連絡会報告

### 3. 首長関連

（1）賛同状況（県知事はじめ60首長）

（2）未賛同首長（3自治体）への対応～全首長賛同をめざし現対応団体で働きかけ。

行政	対応団体	対応状況
富士見市	しらさぎ会	富士見市からしらさぎ会に連絡があり田中会長が対応。市長訪問を予定。
三郷市	しらさぎ会	10月に市長選だが、上野さんと一緒に訪問を計画。
小川町	県婦連・生協連	県婦連吉田さんに依頼する。

### 4. 広げるための取り組み

（1）8/6 全国交流会・事務局から

- ①今年度の署名〆切は9/27（木）とし、現物署名数の目録を提出。（報告書別紙）
- ②被爆者2名を国連に派遣し、カンパによる資金調達を行なう。

（2）県内300万筆に向けた他団体への賛同・普及のお願い

①県内300万署名目標の今後の展開

→未署名の県内国会議員・県議会議員への働きかけを行う。

1)国会議員～しらさぎ会が対応。賛同リストを次回情報提供いただく。

2)県議会議員～はじめての取り組み。12月末までに一巡する目標で、議員一覧を作成し各団体で分担する。地元の有権者が選出議員事務所に訪問する。

②参加団体から報告（依頼文・署名用紙・Q&A・チラシ持参）

しらさぎ会、原水協、コープみらい、医療生協、保険医協会から報告があった。

なお、署名の記載内容について質疑があり、氏名・住所（市町村名・番地）が基本となり、氏名だけの署名は例外扱いであることを確認した。

### 5. その他

（1）核兵器禁止条約に調印した国60か国一覧（9月4日現在、批准した15か国）

（2）情報提供として、①世界医師会の場で核兵器禁止条約の署名・批准の推進を日本から呼びかけ、②ローマ法王が「焼き場に立つ少年」の写真を配布指示したことが話題に。

### □次回日程

・10月24日（水）15:00～埼玉県生協連・会議室

## 2018 ピースアクション in ヒロシマ 参加報告

2018年8月8日  
埼玉県生活協同組合連合会

被爆から73年を迎える、「ヒロシマの心を次世代のあなたへ ~知って、感じて、動き出そう~」をテーマに開催され、埼玉県生協連として参加しました。8月4日～6日の期間中、虹の広場への参加や講話などを聴いて、後世に伝え続けていくことの大切さを実感しました。

### <8月4日 広島平和記念資料館>

被爆者の遺品や被爆の惨状を示す写真や資料を展示するとともに、広島の被爆前後の歩みや核時代の状況について紹介しています。

### <8月4日 被爆の証言「入市被爆の新聞記者が伝えたかった被爆の実相」>

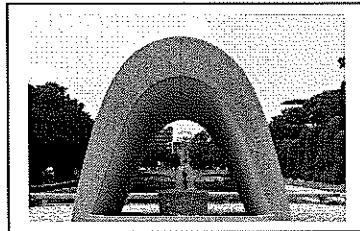
6日当日は、たまたま叔父さんのところに芋をもらいにいっていたため、被爆を逃れることができました。印象に残った言葉として「ぜひ、みなさんには、つないでいってほしい」

### <8月4日 碑めぐり>

被爆したアオギリの木⇒岡三吉詩碑⇒原爆死没者慰靈碑⇒原爆の子の像⇒韓国人原爆犠牲者慰靈碑⇒原爆供養塔⇒平和の鐘

### <原爆死没者慰靈碑>

被爆の実相を伝える「碑」をめぐり、そのいわれと「碑」に込められた「思い」がわかりました。平和の尊さと原爆の悲惨さを実感するとともに、後世に伝えていく大切さが理解できました。



### <8月5日 被爆体験伝承講和>

被爆体験者 児玉光雄さん　　被爆伝承講話者 沖吉幸子さん

被爆者の高齢化の進行と同様に、かたりべの方も200名⇒150名と減ってきており、広島市が危機感を感じて、被爆伝承者を育成し、6年間で100名になっています。

第二次世界大戦に至った経過とあわせて、児玉さんの事例を話されていました。

印象に残ったのは、児玉さんの同級生307人の内、生き延びたのは19人。現在生存者は、2名のみ。「勝ちも負けもない。人類の敗北だ」

### <8月5日 虹のひろば><被爆ピアノ>



被爆ピアノ（演奏者向井理佐美さん）による演奏、箕牧智之さんによる被爆の証言、広島市立基町高校の原爆の絵、広島県立福山工業高校のVR爆心地の紹介、全国生協の平和活動展示などで、参加者の交流が行われました。

### <8月6日 被爆の証言 しげる君の「まっ黒なおべんとう」>

広島第二中1年生の折免滋さんは、山や竹藪を開墾してて被爆されました。弁当箱をおなかの下に抱きかかえるような姿で遺体が発見されました。

### <まとめ>

3日間の参加させていただいた感想として、後世に伝え続けていくことの大切さを講話を聴いたり資料等をみて実際に感じられたこと、特に高校生が被爆者から当時の話を聞き取りながら、何回も書き直しながら油彩画を完成させて、多くの方に伝わるようにしていることに感銘しました。

# 第39回九都県市合同防災訓練(埼玉県会場)報告

埼玉県生活協同組合連合会

8月26日（日）に第39回九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）合同防災訓練（埼玉県会場）が「蓮田市総合市民体育館パルシ一周辺」を中心会場に市内各所で行なわれました。当日は、深谷断層帯・綾瀬川断層を震源とするM8.0の地震が発生し、蓮田市内で震度6強の揺れを観測、県中央部を中心に甚大な被害が発生しているとの想定のもと、住民活動訓練、救出救助訓練、災害時医療訓練、ライフライン復旧訓練、緊急救援物資輸送訓練、避難所開設・運営訓練、災害ボランティアセンター開設・運営訓練など、実践的な訓練が実施されました。

## ■埼玉県との「基本協定」にもとづき20回目の参加

埼玉県と埼玉県生協連、コープみらいが締結している「基本協定」「物資協定」にもとづき、今回で20回目の参加となりました。上田清司県知事や県議会関係、蓮田市長、市議会関係の皆さんをはじめ、多くの県域・地域団体など、約8,000人が参加しました。埼玉県生協連と各生協は、防災フェアでの企画に役職員15人と組合員8人、計23人が参加し、埼玉の生協を広くアピールすることができました。（参加生協…コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたま、コープデリ連合会、労済生協）



飲料・菓子等配布訓練



握力チェック（医療生協さいたま）



防災クイズ（コープみらい）

## ■訓練内容：防災フェア

1. 応急生活物資配布訓練として、パルシステム埼玉提供の飲料「キャロットさん」500個、生活クラブ生協提供の菓子「サクサクスナック」500個、労済生協提供の防災てぬぐい200枚を約800人に配布しました。
2. 医療生協さいたまは、握力チェックを行い、約400人が参加しました。
3. コープみらいは「防災」に関する身近なクイズをおこない、約300人が参加しました。クイズに答えた方には、粉末のスポーツドリンクを差し上げました。クイズは、家庭での防災意識を高めるもので、展示したローリングストックで備蓄する商品の紹介も好評でした。



## 2018年度「体験稻刈り＆田んぼの生きもの調査」報告

埼玉県生活協同組合連合会

9月15日(土)、5回目を迎えたJA全農さいたまと埼玉県生活協同組合連合会共催、杉戸町とJA埼玉みずほ後援の「体験稻刈り＆田んぼの生きもの調査」は、杉戸町高野農村センター及び隣接の草地にて、生協組合員等22家族69人(大人29人・子ども40人)の参加で開催されました。

### ■開会式

主催者を代表してJA全農さいたま水村副本部長、後援いただいた地元のJA埼玉みずほ宮城組合長からのあいさつ、来賓の紹介が行われました。あいにくの雨のため、残念ながら稻刈り体験は中止となり、事務局より本日のスケジュールと注意事項について案内がありました。生産者の野口さんより、普段あまり見ることのない俵や稲穂の紹介、お米作りのお話も伺いました。



### ■田んぼの生きものについての説明

田んぼの生きもの調査の林講師より、実際に当日捕まえた虫を紹介いただき、田んぼやその周辺の生きものや自然環境、生態系などについてのお話を聞きしました。途中、杉戸町の古谷町長とすぎぴょん(杉戸町マスコットキャラクター)も登場し、記念撮影する場面もありました。その後、お弁当や地域の杉戸町大島手作り味噌部会のみなさんが作ってくださった豚汁を食べながら、雨が小降りになるのを待ちました。



### ■生きもの調査

昼食後、若干小降りになった雨の中、隣接する草地に出て、生きもの調査をおこないました。子どもたちは虫かごや網をもって草地で生きものを探し始めましたが、雨で動きが鈍いこともあり、普段捕まえることが困難なクルマバッタやトノサマバッタを素手で次々に捕まえることができました。ほかにも、ショウウリヨウバッタ、オンブバッタ、クルマバッタ、コバネイナゴ、エンマコオロギ、ウスイロササキリ、ツユムシなど、多種多様な生きものを目にして、あちこちで歓声が上がっていました。捕まえた虫を林講師に見てもらい、正式な名前を教えてもらいました。身近にこんなにたくさんの虫がいることを知り、最後は、バッタとばしをおこない、生態系保護のため、捕まえた生きものを草地に戻して、終了しました。



## 埼玉県生協連2018年度第2回理事会報告

日時/会場：2018年9月13日(木)14時57分～16時28分 埼玉県生協連 会議室

出席：岩岡会長、大久保常務、齊藤常務、大山常務、関野理事、前田理事、重盛理事、柳川理事、中島理事、吉川理事、後藤理事、横田監事、奥野監事、高藤監事

議長 齊藤常務理事、書記：今野

### 《交流事項》上期会員生協の経営概況について

出席された各会員生協より上期の経営概況について報告がありました。

### ■議題

#### I. 議決事項（岩岡会長より以下の提案がされ、了承されました）

- 活動委員会委員長、災害対策委員会委員長、大学部会長の選任について

#### II. 協議事項

- JCAの発足を受けて
- 適格消費者団体のに関するガイドライン等に関する意見(案)
- ストップ消費者被害！消費者契約法改正運動～参加のよびかけ
- 2018年度会議日程変更提案

横田監事より会議日程の変更は慎重な対応を望む意見が寄せられ、第3回理事会(11/15)の開始時間を13時半から14時に修正し、岩岡会長理事から議場に誂ったところ、全員異議なく承認されました。

#### III. 監事会関連(横田監事より報告)

- 第1回監事會(6/21)報告
- 第2回監事會(9/6)報告
- 2018年度監査計画

#### III. 報告事項（岩岡会長より以下の報告がされ、了承されました）

##### 1. 報告確認事項

- (1) 消費者関連問題の取り組みについて
  - ①消費者に関わる行政や各団体の取り組み
  - ②埼玉消費者被害をなくす会の取り組みと今後の課題
  - ③埼玉県からの受託事業関連
  - ④第54回埼玉県消費者大会関連
- (2) 食の安全行政の充実・強化関連
  - ①食の安全に関わる行政や各団体の取り組み
  - ②埼玉県食の安全県民会議(7/10)報告
- (3) 2018コヨットin埼玉 実施報告(8/20～22)
- (4) 2018年度生協役職員研修(11/15)について
- (5) 2018年度組合員活動交流会(12/13)について
- (6) 西日本豪雨災害緊急支援募金への拠出について
- (7) 後援の依頼について
  - ①コープみらいフェスタ2018inさいたまスーパーアリーナ(10/14)

##### 2. 一般報告事項(一括して報告)

- 埼玉県との埼玉県生協連との第1回定期協議(8/2)報告
- 平和の取り組み関連
  - ①平和・市民5団体懇談会(7/11・8/29)報告
  - ②第33回埼玉県原爆死没者慰靈式(7/29)報告
  - ③2018平和のための埼玉の戦争展(7/28-30)報告
  - ④ピースアクションinヒロシマ(8/4-6)報告
  - ⑤ヒバクシャ国際署名関連
  - ⑥2018さよなら原発埼玉県民集会関連
- 第1回県内生協組合員学習会(7/11)報告
- 第39回九都県市合同防災訓練(8/26)報告

次回、第3回理事会11月15日(木)14:00～埼玉県生協連会議室

## 埼玉県生活協同組合連合会 2018年度第2回監事会報告

1. 日 時 2018年9月6日（木）13：08～14：14
2. 場 所 埼玉県生活協同組合連合会 会議室 さいたま市浦和区岸町7-11-5
3. 出席者 監事総数3名中3名出席  
横田厚監事、奥野友佳子監事、高藤美和子監事  
県生協連：岩岡会長理事、今野（事務局）
4. 議 長 横田厚監事
5. 議事の経過の要領とその結果  
監事会規則第10条の規定により横田監事が議長として、議事運営について提案を行い、議事を進行しました。

### 【議題】

#### 1. 2018年度 監査計画（案）について

事務局より上記についての説明と、第4回または5回監事会にて須川公認会計士との懇談の機会を設けることを確認し、9月理事会へ報告することを全員異議なく了承しました。

#### 2. 2018年度 監事会日程

横田監事より上記の提案をうけ、以下の通り確認しました。

	日程	内容	理事会日程
第1回	6月21日（木）15:20	総会監査	※総会当日
第2回	9月6日（木）13:00	監査計画等・経営概況	9月13日（木）
第3回	11月2日（金）10:30	期中監査	11月15日（木）
第4回	4月19日（金）10:30	決算関係等	5月16日（木）
第5回	5月24日（金）10:30	総会議案・監査報告書	6月20日（木）

#### 3. 決算状況

- (1) 岩岡会長理事より、4月～8月までの県生協連の決算概況について報告し、全体として予算通り推移していることや予算比・前年比での増減理由について質疑と説明がありました。

#### 4. その他

##### (1) 総会監査に関する監事指摘事項

- ①議事録署名人の選定について、現在議長2人と会長理事の計3人が署名しているが、より客観性が担保できる選定方法について、監事間で意見が交わされた。現行の議事録署名人の選定について法的要件は満たされており問題はないが、今後も検討することとしました。
- ②傍聴者の議事運営委員会への確認方法やマスコミ専用席について意見が述べられ、改善する旨、会長理事から回答しました。

##### (2) 総会議事録の確認及び終了届の確認

監事会終了後、総会議事録及び終了届を監事全員で確認しました。

以上

# 埼玉県生協連2018年度第1回活動委員会報告

日時・場所：2018年8月30日（木）13時27分～16時00分 埼玉県生協連会議室

出席：大久保（委員長）、関野・本多（コーポみらい）、山水・武井（パルシステム埼玉）、菊一・金津（生活クラブ）、磯崎・村崎（医療生協さいたま）、塩崎（労済生協）、荒井（東都生協）

埼玉県生協連：岩岡会長、事務局=今野・加藤・清水桂・清水勤、オブザーバー：平岡・松原（日本生協連）下線欠席／敬称略出欠

## ■議題

・会長あいさつ

活動委員会の目的を説明した後。JCA発足を受けた協同組合間の連携を推進していきたい。

・活動委員会委員長の選任について

大久保常務理事を活動委員会委員長として次回理事会にて推薦を確認します。

## I. 話し合いたいこと

1. 活動委員会での意見交換・交流について

(1) 各会員生協の取り組みから学ぶ「平和・憲法の取り組み」について

各会員生協から報告いただき、活発に意見交換しました。ヒロシマ・ナガサキ行動、ヒバクシャ国際署名の進捗、被爆証言、ピースウェーブ、憲法カフェなど多彩な取り組みが報告され、憲法カフェの展開方法や東都生協の活動パッケージに関する質疑応答がありました。

(2) 埼玉県生協連の取り組み(11/15、12/6、3/7)確認

事務局より提案し、日程調整の話し合いがもたれ、事務局預かりとしました。

2. 6-8月活動報告書と各会員生協資料

## II. 日本生協連からの報告（中央地連）

平岡さんから、日生協・中央地連の報告や各種企画の呼びかけが報告されました。

## III. 確認したいこと

1. 埼玉県受託事業関連 2. 第54回埼玉県消費者大会の成功に向けて（1）第54回埼玉県消費者大会チラシ（2）全体会事務局スタッフ派遣のお願い（3）大会スケジュール・役割分担・集合時間などの確認（4）消費者大会第5回実行委員会(8/22)報告

## IV. 報告したいこと①（事前送付部分は、一括して報告）

1. 消費者関連問題の取り組みについて（1）消費者に関わる行政や各団体の取り組み（2）第1回県内消費者団体研修会(7/13)報告（3）埼玉消費者被害をなくす会の取り組みと今後の課題  
2. 食の安全行政の充実・強化関連（1）食の安全に関わる行政や各団体の取り組み(差し替え)  
（2）埼玉県食の安全県民会議(7/10)報告 3. 第1回県内生協組合員学習会(7/11)報告 4.  
2018さよなら原発埼玉県民集会関連（1）第4回実行委員会(7/4)報告 5. 平和の取り組み関連（1）平和・市民5団体懇談会(7/11)報告（2）第33回埼玉県原爆死没者慰靈式(7/29)報告  
（3）2018平和のための埼玉の戦争展(7/28-30)報告（4）第6回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会(8/1)報告（5）2018ピースアクションinヒロシマ(8/4~6)報告 6. 第1回災害対策委員会(7/20)報告 7. 2018コヨットin埼玉(8/7-9)報告 8. 平成30年度九都県市合同防災訓練(8/26)報告

## V. 報告したいこと②（文書報告）

1. 第7回理事会(6/21)報告 2. 第47回通常総会(6/21)報告 3. 第1回理事会(6/21)報告  
4. 第1回監事会(6/21)報告 5. 埼玉消団連（1）幹事会(7/12、8/2)報告 6. 埼玉消費者被害をなくす会（1）第15回総会(6/21)報告（2）第1回活動委員会(7/10)報告 7. 活動日誌と予定

## VI. 参考資料

1. 2019年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望

2018 年度

## 9 月度・埼玉消団連幹事会報告

2018 年 9 月 埼玉消団連

開催日時 2018 年 9 月 19 日（水） 10：00 ~12：10

開催場所 埼玉県生協連会議室

出席確認 新婦人（加藤）、県婦連（森）、埼玉県生協連（大久保）、埼玉母親大会連絡会

[敬称略] （川上）、公団自治協（隈本）、さいたま市消団連（廣田）

埼玉消団連代表幹事兼事務局長（岩岡）事務局（加藤・清水）

### 【審議事項】 議長 廣田さん

1. 第 54 回埼玉県消費者大会第 6 回実行委員会のすすめ方、提案について資料をもとに論議をおこない、次のことを確認した。
  - 埼玉県への要請に関する文章の一部については、実行委員会後も現状の確認をおこなうことを確認し、実行委員会で事務局に一任することを確認する。
  - 実行委員会紹介の場面では、並び順を県域団体と地域団体を入れ替えることについて、実行委員会に投げかけ論議をおこなうことを確認した。
  - 実行委員会後のマスコミ訪問は、分科会単位のグループで 1 か所を目安に設定することを確認した。
2. 7/13 に実施した県内消費者団体全体研修会のふりかえりをおこない、2019 年 1 月～2 月におこなう地区別研修会の実施テーマについて検討をおこなった。検討の中では、2 年前におこなった災害に関する学習の続きとして、日常的な地域のつながりづくりに関するテーマでの実施などの意見があった。引き続き、次回の幹事会で検討をおこなうことになった。
3. 埼玉消費者被害をなくす会が埼玉県から受託している「消費者被害防止サポーター事業」などの進捗について報告をおこなった。
4. ストップ消費者被害！消費者契約法改定運動より、団体登録の呼びかけがあり登録について検討をおこなった。検討の結果、全国の消費者団体と、消費者契約法の積み残しどなっている課題を解決するために団体登録をおこなうことを確認した。
5. 内閣府消費者委員会より、埼玉県でのシンポジウム開催の呼びかけがあり、検討の結果、開催することを確認した。⇒このくだりはホームページ・情報は NG で願います

### 【報告・確認事項】

1. 食の安全に関わる行政や各団体の取り組み、消費者に関わる行政や各団体の取り組みについて、大久保幹事から資料をもとに報告をおこなった。
2. 8 月幹事会報告を事務局よりおこなった。
3. 各団体から活動報告をおこなった。
4. すべての議事を終了し、12 時 10 分に幹事会を終了した。

今後の日程

2018 年 10 月 30 日 埼玉消団連幹事会 10 時 00 分

埼玉県生協連会議室

## 成年年齢が引下げになると～こんなこと、あんなことに要注意！～

2018年8月28日（火）10時より、浦和コミュニティセンター第13集会室にて、保足和之さん（独立行政法人 国民生活センター）を講師に迎え学習会を開催し、34人が参加しました。



### 【概要】

2017年度の相談では、契約時に20歳から22歳の若者からの相談件数は、18歳から19歳と比べて1.8倍に高くなっています。20歳から22歳の相談は、男性ではフリーローン・サラ金、サイドビジネスなどの金銭に関するもの、女性では脱毛エステ、痩身エステ、美顔エステ、美容医療など、美容に関するものが上位を占めています。

若者の消費者トラブルのキーワードは「スマートフォン、SNS、借金・クレジット契約」。スマートフォンは膨大かつ多様な情報を瞬時に取得できますが、誤った情報に基づいて意思決定してしまう危険性もあります。スクロールで通過してしまうところに重要な情報が含まれていることもあります。SNSがマルチ取引のきっかけとして利用されてしまうトラブルは18歳から22歳の若者で多くあります。

親権者の同意を得ずに未成年者が行った契約は原則として取り消すことができますが、成人になるとこのような保護はありません。社会経験が乏しい若者をねらい撃ちにする悪質な事業者もいます。成年年齢が引下げになると、18歳になった途端にマルチ商法やエステサロン、金儲けの情報商材などの勧誘を受けたり、個別クレジット契約を勧められたりする可能性があります。

### 【若者からの相談事例】

よく考えずに契約した事例：街で声をかけられ、タレント事務所に所属契約。翌日解約を申し出たらまだ撮影も受けてないのに3万円の解約金を請求された

契約をせかされた事例：痩身エステのモニター500円の広告を見て店に出向くと、約20万のコースを勧められた。親に相談しようとしたら、もう20歳だから自分で決めればいいといわれ、エステとクレジットの契約をした。中途解約を申し出たが、13万円も請求された

20歳になった途端に契約させられた事例：20歳の誕生日が来たら契約できると友人に言われ、誕生日の2日後にA氏と会った。仮想通貨で儲けることができるので100万円が必要と言われた。お金がないと断ったがA氏に言われるままに消費者金融から100万借りた。一人勧誘すれば40万円が入ると言われたが誰も勧誘していない。解約し、返金してほしい

借金やクレジット契約を勧められた事例：人気ブロガーが行ったというエステ店で500円の体験を受けたあと、30万円の全身痩身コースを勧められた。支払えないと断ったが、分割払いでも1万円なら大丈夫と言われ契約してしまった

### 【国民生活センターについて】

相談、相談情報の収集・分析・提供、商品テスト、広報・普及啓発、教育研修・資格制度、裁判外紛争解決手続き（ADR）、適格消費者団体支援を行なっています。全国に1200か所ある消費生活センターからPIO-NETに入力された相談情報は約90万件/年あり、調査分析・実体把握、情報提供、注意喚起などに活用されています。その相談情報をもとに、知りたいトラブル防止のポイントが「くらしの豆知識」として出版されています。

### 【参加者の感想より一部抜粋】

- 保証人も18歳からなるとのこと、不安です。
- 若者のトラブルについてはほとんど情報が入ってこない。成年年齢が引下げになると、トラブルに遭う人が増えるだろうと怖いです。
- 家庭内での話し合いや、子どもたちに対しての教育の必要性を感じました。
- 未成年、成年で契約などに差があるということの視点をもつことが出来ました。

## 埼玉県生協連 活動報告と予定

2018.10.25 活動委員会

### 活動経過（2018年9月～10月）

9/3	埼玉県環境審議会
/4	2018 平和のための埼玉の戦争展実行委員会
/6	第 1 回常務理事会、第 2 回監事会、埼玉県労働者福祉協議会理事会
/7	不当表示の見分け方講座（越谷市・さいたま市）
/8	適格消費者団体連絡協議会（～9日 東京）
/10	NPO 法人フードバンク埼玉理事会・運営協議会
/12	ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会、不当表示の見分け方講座（所沢市） 2018 さよなら原発埼玉県民集会第 5 回実行委員会
/13	埼玉県消費生活功労者表彰式、第 2 回理事会
/14	立憲・国民・無所属の会予算要望、埼玉消費者被害をなくす会第 3 回活動委員会
/15	体験稻刈り＆田んぼの生き物調査
/19	埼玉県消費者団体連絡会幹事会、第 54 回埼玉県消費者大会第 6 回実行委員会
/20	埼玉エコ・リサイクル連絡会運営委員会 全国消費者団体連絡会消費者行政プロジェクト
/21	日本共産党埼玉県議会議員団懇談 消費者被害防止センター養成講座（飯能市）
/25	中央地連第 2 回運営委員会、第 2 回県連活動推進会議 原発ゼロをめざす小泉純一郎講演会実行委員会
/27	地方消費者行政の充実・強化を考えるシンポジウム
/28	埼玉消費者被害をなくす会第 3 回理事会・9月検討委員会 福祉見守り担当者講座（熊谷市）
/30	埼玉県労働者福祉協議会スタディツア（～10/1）
10/1	中央地連 MCA 無線訓練
/7	2018 さよなら原発埼玉県民集会県内団体交流会 2018 さよなら原発埼玉県民集会、ボイスカウト埼玉県連盟報告会
/9	第 54 回埼玉県消費者大会
/10	フードバンク埼玉 2018 年度セミナー
/12	原発ゼロをめざす小泉純一郎講演会 全国消団連消費者行政プロジェクト、全国消団連運営委員会・理事会
/14	コープみらいフェスタ
/18	埼玉エコ・リサイクル連絡会運営委員会 埼玉消費者被害をなくす会第 4 回活動委員会、日弁連と適格消費者団体との懇談会
/19	関東甲信越行政生協関係者連絡会
/22	埼玉県と適格消費者団体との協議会、埼玉消費者被害をなくす会 10 月検討委員会
/23	原発ゼロをめざす小泉純一郎講演会実行委員会
/24	平和・市民 5 団体懇談会、ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会
/25	第 2 回活動委員会

/26	埼玉県労働者福祉協議会役職員研修会（～27日・岩手）
/28	さいたま市消費生活展
/29	ACAP懇談会
/30	埼玉県消費者団体連絡会幹事会
/31	関東農政局フードバンク活動促進情報交換会

活動予定（2018年11月～12月）

11/1	TACパワーアップ埼玉県大会
/2	第3回監事会
/5	スマイル基金総会・シンポジウム
/7	さよなら原発埼玉県民集会第6回実行委員会、全労済埼玉県推進本部セミナー
/8	第2回常務理事会、埼玉県労働者福祉協議会理事会
/11	労済運動体験学習（～12日）
/12	彩の国埼玉環境大賞審査会、25条実行委員会
/13	埼玉消費者被害をなくす会第5回活動委員会
/14	埼玉県ユニセフ協会理事会・評議員会、埼玉県地球温暖化の検討に関する専門委員会
/15	第3回理事会、埼玉県生協役職員研修会
/16	埼玉消費者被害をなくす会第4回理事会・11月検討委員会
/17	彩の国食と農林業ドリームフェスタ（～18日）
/19	日本生活協同組合連合会地域社会づくり交流会
/21	埼玉県消費者団体連絡会幹事会
/26	埼玉県こども食堂フォーラム
/27	中央地連第3回運営委員会
/30	第54回埼玉県消費者大会第7回実行委員会 埼玉県と第54回消費者大会実行委員会との懇談、JA埼玉県大会
12/3	中央地連MCA無線訓練
/5	中央地連大規模災害対策協議会都県連交流会
/8	災害支援団体エントリー大作戦
/10	埼玉消費者被害をなくす会第6回活動委員会
/12	フードバンク埼玉運営協議会理事会
/13	第3回活動委員会、組合員活動交流会、日弁連と適格消費者団体との懇談会
/17	埼玉消費者被害をなくす会12月検討委員会
/18	埼玉県消費者団体連絡会幹事会
/19	地方消費者フォーラム
/20	埼玉エコ・リサイクル連絡会運営委員会
/21	全国消費者団体連絡会運営委員会・理事会
/27	第3回常務理事会

「埼玉労福協」発 第 18-42号

2018年10月10日

## 埼玉県生活協同組合連合会 様

## 「多重債務者相談強化キャンペーン 2018」チラシ配布について

(一社) 埼玉県労働者福祉協議会  
理事長 小林 直哉

日頃の労福協運動に対するご協力に感謝申し上げます。

埼玉労福協は、埼玉県多重債務対策協議会に参加して、情報共有を行っています。

平成22年6月の改正貸金業法完全施行により、多重債務問題は一時と比べ落ち着きを見せてはいるところですが、多額の借入残高を有する層は現在も相当数存在し、継続的に多重債務者対策を講じていく必要があります。

本年度も、埼玉県多重債務対策協議会は、下記の期間において「多重債務者の無料相談会」を実施します。

埼玉労福協は、下記の日時でサテライトの無料相談窓口を実施します。つきましては、貴団体に「多重債務者相談強化キャンペー2018」のチラシを配布いたします。貴団体におかれましては、組織内に「多重債務者相談強化キャンペー2018」のチラシ展開をご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

## 「多重債務者の無料相談会」

◆無料相談会期間：2018年11月12日（月）～23（金）

□予約期間 2018年11月1日(木) ~ 11月22日(木)

※予約方法：電話による申し込み TEL 048-838-3011

### 〈埼玉労福協担当日〉

□日時 2018年11月23日(金) 10:00~16:00

□会場 さいたま市民会館うらわ 7階 706集会室

◆チラシ配布枚数 50枚

【問い合わせ先】埼玉労福協 担当：佐藤まで TEL 048-833-8731  
以上

# 多重債務者相談強化キャンペーン

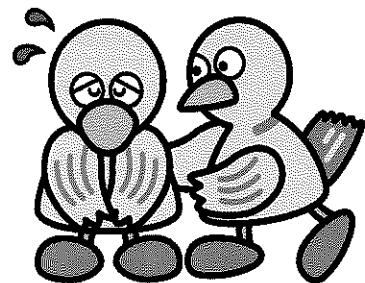
2018.11/12 [月] ~23 [金・祝]

各相談会場で、埼玉弁護士会、埼玉司法書士会の弁護士、司法書士が無料で相談を受けます。

- ◆予約方法：電話による申込み
- ◆予約期間：11月1日（木）～22日（木）  
10:00～16:00（土日祝日は除く）
- ◆予約電話：048-838-3011

（臨時電話のため、予約期間以外はつながりません）

※予約ができない方もお気軽に裏面会場にお越しください。  
お問い合わせ先：埼玉県消費生活課 048-830-2935



無料  
相談会

## 無料相談会 開催会場

開催日	会場	心の相談	住所	交通手段
11/12(月)	県消費生活支援センター春日部支所 2階 相談室3		春日部市大沼1-76 春日部地方庁舎	東武線 春日部駅西口からバス（朝日自動車）地方庁舎前下車
11/15(木)	さいたま市消費生活総合センター		さいたま市大宮区錦町682-2 JACK大宮6階	JR・東武線 大宮駅西口から徒歩4分
	熊谷市緑化センター 2階 研修室		熊谷市宮町2丁目37-1	JR高崎線 熊谷駅北口から徒歩15分 (車の場合、熊谷市役所駐車場利用可)
11/17(土)	桶川市役所 3階 会議室303・306	○	桶川市泉1丁目3番28号	JR高崎線 桶川駅西口から徒歩9分
	埼玉弁護士会法律相談センター		さいたま市浦和区高砂4-2-1 浦和高砂パークハウス1階	JR浦和駅西口から徒歩14分 JR中浦和駅から徒歩15分
	県消費生活支援センター本所（川口） OA室		川口市上青木3-12-18 SKIPシティA1街区2階	JR京浜東北線 西川口駅東口からバス（国際興業バス）総合高校下車徒歩5分
11/19(月)	越谷市中央市民会館 4階 会議室A・B		越谷市越ヶ谷4-1-1	東武スカイツリーライン 越谷駅東口から徒歩7分
11/20(火)	所沢市役所 6階 604会議室	○	所沢市並木1丁目1-1	西武新宿線 航空公園駅東口から徒歩3分
	県消費生活支援センター川越支所 分室		川越市新宿町1-17-17 ウェスター川越公共施設棟3階	JR・東武線 川越駅西口から徒歩5分
11/21(水)	戸田市役所 1階 103会議室		戸田市上戸田1丁目18番1号	JR埼京線 戸田駅東口から徒歩10分
11/23(木・祝)	さいたま市民会館うらわ 7階 706集会室		さいたま市浦和区仲町2-10-22	JR浦和駅西口から徒歩7分

相談時間は10:00～16:00です。

○印の会場では、あわせて心の相談も受けられます。

※11/15(木)熊谷市は13:30～19:30、11/17(土)桶川市は9:00～16:00

**借金の問題でお悩みの方は、まずは御相談を！**

銀行、信販、クレジット、消費者金融、ヤミ金融などから借り入れしている人を対象に、専門家による無料相談会を開催。債務整理や生活再建に向けて、まずは気軽に近くの相談会場へ。

**主催：埼玉県多重債務対策協議会**

## 埼玉県内における多重債務相談窓口一覧

機関	相談窓口	電話番号	機関	相談窓口	電話番号
国	関東財務局財務広報相談室 (さいたま新都心)	048-600-1113	埼玉県	県民相談総合センター	048-830-7830

○県内市町村

さいたま市	消費生活総合センター	048-645-3421	八潮市	八潮市消費生活センター	048-996-2111 (内線336)
	浦和消費生活センター	048-871-0164	富士見市	消費生活センター	049-252-7181
	岩槻消費生活センター	048-749-6191	三郷市	広聴室	048-930-7724
	北区役所	048-669-6026	蓮田市	消費生活センター	048-768-3111 (内線248)
	大宮区役所	048-646-3026	坂戸市	消費生活センター	049-283-1331 (内線188)
	南区役所	048-844-7136	幸手市	消費生活センター	0480-43-1111 (内線192)
川越市	消費生活センター	049-224-6162	鶴ヶ島市	消費生活センター	049-271-1111 (内線202)
熊谷市	消費生活センター	048-524-7321	日高市	消費生活相談センター	042-989-2111
川口市	市民相談室	048-258-1110 (内線2715)	吉川市	消費生活センター	048-982-9697
行田市	消費生活センター	048-556-1111 (内線495)	ふじみ野市	市民総合相談室	049-261-2611 (内線239)
秩父市	消費生活センター	0494-25-5200	白岡市	消費生活センター	0480-93-7700
所沢市	消費生活センター	04-2998-9204	伊奈町	住民相談室	048-721-2111 (内線2213)
飯能市	飯能市消費生活センター	042-973-2111 (内線417)	三芳町	消費生活センター	049-258-0019 (内線292)
加須市	消費生活センター	0480-62-1111 (内線177)	毛呂山町	産業振興課	049-295-2112 (内線215)
本庄市	消費生活センター	0495-25-1175	越生町	産業観光課	049-292-3121
東松山市	東松山市消費生活センター	0493-23-2221 (内線245)	滑川町	東松山市消費生活センター	0493-23-2221 (内線245)
春日部市	消費生活センター	048-736-1111 (内線2858)	川島町		
狭山市	消費生活センター	04-2954-7799	吉見町		
羽生市	消費生活相談センター	048-560-6270	嵐山町		
鴻巣市	消費生活センター	048-541-1321 (内線3115)	小川町		
深谷市	消費生活センター	048-571-2805	鳩山町		
上尾市	消費生活センター	048-775-0801	ときがわ町	家族相談支援センター	0493-66-0222
草加市	消費生活センター	048-941-6111	横瀬町	秩父市消費生活センター	0494-25-5200
越谷市	消費生活センター	048-965-8886	皆野町		
蕨市	消費生活センター	048-432-4286	長瀬町		
戸田市	消費生活センター	048-433-5724	小鹿野町		
入間市	消費生活センター	04-2963-5199	東秩父村		
朝霞市	地域づくり支援課	048-463-2648	美里町		
志木市	消費生活センター	048-473-1111 (内線3200)	神川町	経済観光課	0495-77-0703
和光市	消費生活センター	048-424-9116	上里町	消費生活相談窓口	0495-35-1232
新座市	消費生活センター	048-424-9162	寄居町	寄居町消費生活センター	048-581-2121 (内線208)
桶川市	秘書広報課	048-788-4901	宮代町	産業観光課商工観光担当	0480-34-1111 (内線265)
久喜市	消費生活センター	0480-22-3925	杉戸町	消費生活センター	0480-93-1111 (内線306)
北本市	消費生活センター	048-511-8800	松伏町	消費生活センター	048-991-1854

○埼玉県多重債務対策協議会関係機関相談窓口

埼玉弁護士会 法律相談センター	048-710-5666	埼玉司法書士会	048-838-7472
ヤミ金融被害対策埼玉弁護団	048-836-3466	日本司法支援センター(法テラス)	0570-078374
夜明けの会(被害者の会)	048-774-2862		

埼玉県生協連 活動委員会参加のみなさんへ

## 活動委員会での意見交換・交流について

2018年10月15日 埼玉県生協連事務局

10月25日活動委員会において、各生協の通常の活動報告・交流の他に、以下について意見交換・交流をおこないます。事前にご確認のうえ、ご参加くださるようお願ひいたします。

なお各生協からの報告の際は、可能な限り関連する資料をご用意いただければと思います。資料は事前にデータでお送りいただくか、当日20部ご持参ください。

\*宛先 今野 ([y.konno@saitama-k.com](mailto:y.konno@saitama-k.com)) までお願いいたします

### 【意見交換・交流テーマ】

#### ●「子どもの貧困」に関する取り組みについて

- ・日生協が呼びかけている「子どもの未来アンバサダー」への登録・取り組み状況（学習会開催など含めて）
- ・子ども食堂、学習支援などの取り組み状況
- ・埼玉県が呼びかけている「こども応援ネットワーク埼玉」設立にかかる動きや、「11/26 こども食堂フォーラム～広げよう！子どもの居場所～」への参加の有無など

#### ●各生協の「平和・憲法」の取り組みについて \*新たな動きがありましたら・・・

- ・平和の取り組み（ヒバクシャ国際署名の取り組みその他）
- ・憲法学習会など

上記項目について、各生協の取り組みを交流しますので、準備をお願いします。  
質疑応答交えて、互いの取り組みへの理解を深めたいと思います。

入場  
無料

# こども食堂 フォーラム

~広げよう！子どもの居場所~

11/26(月) 12:30~17:00

大宮ソニックシティ 地下1F第1展示場

「こども食堂」を知っていますか？

様々な家庭環境や共働きなどにより、満足に食事がとれなかったり、  
1人で食事をする子どもをサポートする「こども食堂」の活動が広がっています。  
「こども食堂」をはじめ、子どもの居場所づくりに取り組む方々がつながり、  
地域の方々が支援することで、子どもの居場所をもっと広げていきましょう。



ブース出展

こども食堂、学習支援教室、ブレーク  
などの「子どもの居場所づくり」に  
取り組む団体と支援する企業が集結！



ミニ講演会

「子どもの居場所」を通じ  
地域とのつながりについて、  
みんなで考えましょう！



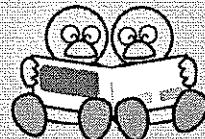
展示・寄付コーナー

■フードドライブも実施!  
■企業CSR展示スペース  
・団体活動紹介

12:30  
17:00

「助助コン」共催!

# こども食堂フォーラム 広げよう！ こどもの居場所



11/26(月) 12:30~17:00 大宮ソニックシティ地下1F第1展示場

## ブース出展



12:30~17:00 団体・企業によるブース展示



こども食堂の様子



学習支援の様子



プレーパークの様子

NPO法人やボランティア団体等が子どもに遊びや学習の場、食事などを提供する「子どもの居場所づくり」が社会的に注目を集めています。

子どもの居場所づくりに取り組む団体の先進事例や子どもの居場所づくりを支援する企業などの取組事例をブースで紹介します。また、こども食堂をはじめたい、ボランティアをしたい方の相談コーナーもあります。

## ミニ講演会

講演会1~3は事前申込枠

## 展示・寄付コーナー

### 13:00~13:40 子どもの居場所をつくろう！

講師:栗林 知絵子氏 (NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長)

### 13:50~14:30 地域ネットワークづくりの実践 (パネルディスカッション)

パネリスト:栗林 知絵子氏 (NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長)、  
松見 幸太郎氏 (NPO法人キッズアート事務局長)、白鳥 勲氏 (一社彩の国子ども・若者支援ネットワーク代表理事)、野口 和幸氏 (NPO法人地域子ども包括支援センター理事長)、  
コーディネーター:埼玉県福祉部少子政策課長

### 14:40~15:20 今知りたい！クラウドファンディングの仕組みと活用術

講師:遠藤 寛之氏 (株式会社CAMPFIRE FAAVO/CAMPFIREローカル事業部キュレーター)

### 15:30~16:30 事例発表 (事前予約なし・当日先着順)

様々な「子どもの居場所」を実践する団体による事例発表

こども食堂、学習支援教室、プレーパークなど6団体程度を予定

12:30~17:00

## フードドライブも実施！

会場では企業や家庭で余ってしまった食品の回収を行います。



【注意】  
※お預かりできる食品には以下の条件があります。◎賞味期限が明記され、3か月以上あるもの ◎常温で保存可能なもの／生鮮食品でないもの ◎未開封であるもの／破損で中身が出ていないもの

## 企業CSR展示スペース・団体活動紹介

企業や団体の活動をパネルや動画で紹介します。



## 「英助コン」共催！

主催:英助コンサルティング株式会社  
共催:大宮ソニックシティ、大宮駅前地区活性化協議会

## 「こども食堂フォーラム」参加申込書

こども食堂フォーラムに参加希望の方はE-mail・FAXのいずれかにてお申し込みください。FAXの方は下記申込書に記入して送信してください。E-mailの場合は、メール本文に下記申込書の内容を記載して送信してください。

ふりがな  
氏名

団体名

役職

住所〒

参加人数

人

Tel.

FAX.

E-mail

ミニ講演会に参加希望の方は、希望する講演会(チェック印を入れて下さい。)と人数をご記入ください。

参加講演会  講演会1( )人  講演会2( )人  講演会3( )人

E-mail:kodomo-syokudo@cerespo.co.jp

FAX:048-825-3274

ホームページ:<https://kodomououen-net-saitama.themedia.jp/>



## 埼玉県委託事業

### 2018年度役職員研修会について

2018年9月5日 埼玉県生協連

10月10日加筆

#### 1. はじめに

- (1) 2018年度も、暮らしに関わる様々な社会的課題について、生協として関わることの必要性、重要性を提起し、会員生協の取り組みにつなげることのできる組合員・役職員を対象とした学習会を実施します。
- (2) 今年は日本協同組合連携機構（JCA）が発足し、地域課題の解決や持続可能なくらしづくりに向けて、協同組合の連携がその役割を果たすことの意味や価値について学ぶことがよりいっそう重要になっており、今後の埼玉県生協連の研修・学習会でも深めていけるように、テーマを設定していきます。
- (3) 昨年の役職員研修での学習「持続可能な社会へ(SDGs)：先駆者賀川豊彦から学ぶ」を踏まえ、「SDGsの視点から 協同組合の役割を学ぶ」のテーマで学習します。

#### 2. 実施内容

日時 2018年11月15日（木）10時00分～12時00分

会場 浦和コミュニティセンター第14集会室

テーマ 「SDGsの視点から 協同組合の役割を学ぶ」

講師 日本協同組合連携機構 主任研究員 横溝大介氏、文珠正也氏

対象 各生協役職員、組合員活動に関わり、運営・サポートされている方

定員 70人

#### 3. 申込方法

11月2日（金）までに生協ごとにとりまとめて、事務局清水桂までご報告ください。

## 活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

**10月度**

### 1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（8月26日～10月24日）

生協名	生活協同組合コープみらい
報告者	本多 達

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
9月11日～14日	9月総代懇談会 	埼玉エリア8ブロックにて、9月総代懇談会を開催しました。 2018年度埼玉エリアでは総代406人を選出し、当日は353人(86.9%)が出席し、総代の役割や通常総代会までに開催する11月、3月、5月ブロック別総代会議の位置づけやコープみらいの理念・ビジョンなどをお伝えしご理解いただきました。
9月26日	新任ブロック委員フォローアップ研修・平和学習会 	午前は、新任ブロック委員を対象に新任ブロック委員フォローアップ研修を開催し25人が参加し、研修で学んだコープみらいの理念・ビジョンやブロック委員の役割などを振り返り、上期8ブロックが取り組んだことを振り返りました。 午後は埼玉エアブロック委員を対象に平和学習会を開催し75人が参加、講師に埼玉県原爆被害者協議会会長の田中熙巳さんをお招きし被爆者の苦しみやこれまでの被爆者運動についてお話ししていただきました。
9月26日	立教大学 寄附講座（秋学期開講） 	2年目となる立教大学寄附講座（秋学期）では、地域コミュニティの希薄化が社会的な問題となる中、地域における協同と連帶の力によって、さまざまな地域課題の解決に当たることの大切さを生協（コープみらい）の事業や活動の実践から学び、その現代的意義や可能性を考える事を授業目標に掲げ、14回講座を予定しています。第1回目は「協同組合はどんな組織か」をテーマに30人中26人が出席しました。
10月9日	第54回埼玉県消費者大会 	埼玉会館にて第54回埼玉県消費者大会を開催し、全体会では自ら考え行動する消費者になろう～誰ひとり取り残さない平和な社会を目指して～を大会スローガンに約700人が参加し、湯浅誠さんを講師に招き、「子どもの貧困の現状と私たちが考えなければならないこと」についてお話しいただきました。午後は4つの分科会「食」「消費者課題」「社会保障」「環境」を開催し、397人が参加。それぞれの助言者の報告、各団体の取り組み、参加者の意見交流・質疑などをおこない、各テーマを深めました。
10月14日	コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ 	『コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ』（主催：コープみらい・コープデリ連合会）を、医療生協さいたま『健康フェスタ』（主催：医療生協さいたま生活協同組合）、『埼玉物産観光フェア』（主催：埼玉県、（一社）埼玉県物産観光協会）、『国際フェア2018』（主催：（公財）埼玉県国際交流協会）と同時開催しました。会場では、5つのテーマゾーンに180を超える団体が出展し、約4万5千人の組合員・県民の皆さんをはじめ、上田清司埼玉県知事、沖縄県伊平屋村から伊礼幸雄村長にご来場いただきました。

## (2) 社会貢献やCSR活動等

- ・2018年9月度時点コープみらい全体での東日本大震災復興支援募金額は9,161,530円
- ・2018年9月度(8/19終了)コープみらい全体での西日本大雨災害緊急支援募金額は241,697,059円
- ・2018年9月度時点コープみらい全体での北海道胆振東部地震緊急支援募金額は12,053,293円
- ・2018年9月度時点コープみらい全体での熱帯雨林保護募金額は850,687円
- ・「コープみらい地域かがやき賞」募集終了
- ・「コープみらいくらしと地域づくり助成」11/9まで募集中

## (3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

--

## (4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
10月26日	テーマ学習会②（SDGs・くらし豊かに2018）	ブロック委員 116人
10月28日	さいたま市消費生活展	
11月3日	コープみらいプラザまつり in 大宮	中部ブロック
11月6日～ 11月9日	11月ブロック別総代会議	埼玉エリア
11月10日	(農) 埼玉産直センター収穫祭	
11月15日～ 11月22日	ユニセフパネル展（川口市立高等学校内）	
11月18日	コープみらいプラザまつり in 浦和 コープみらいプラザまつり in 深谷	南部ブロック 北部ブロック
11月28日	テーマ学習会③（ユニセフ）	ブロック委員
12月1日	コープみらいプラザまつり in 春日部	東北ブロック
12月6日	埼玉県生協連組合員活動交流会	ブロック委員
12月9日	コープみらいプラザまつり in 所沢	西南ブロック

## (5) 組合員拡大 9月20日現在

9月度(人)			4月からの累計(人)			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
16,952	9,968	6,984	109,637	78,640	30,997	3,444,752

## (6) 組合員組織状況 10月20日現在

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数(地域クラブ)	444(4,692人)
支部・運営委員会数	8ブロック (埼玉エリア)	支部・運営員数	117人 (ブロック委員)

## 2. 事業報告 9月20日現在

9月度		4月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
33,241,627千円	101.1%	195,410,693千円	101.3%

## 10月25日 埼玉県生協連 活動委員会 報告メモ

2018年10月19日 吉田

### ・「こども応援ネットワーク埼玉」設立への関わりと到達点・今後の予定

※「こども応援ネットワーク埼玉」は、埼玉県の平成30年重点施策「子どもの貧困の解決～貧困の連鎖解消～」の具体化の一つとしてあるもので、埼玉県内の企業や団体などがネットワークを構築して貧困連鎖解消に向けて力を合わせましょう、と埼玉県から提案されているものです。

#### 【6月】

埼玉県福祉部少子政策課より、「こども応援ネットワーク埼玉」設立に向けて“意見交換会”を開催するので、参加してほしい旨の連絡があり“意見交換会”に参加しました。

##### ※“意見交換会”参加団体

- ・彩の国子ども・若者支援ネットワーク（埼玉県内の小学生、中学生、高校生の学習支援）
- ・埼玉県子ども食堂ネットワーク ・フードバンク埼玉
- ・埼玉ホームスタート推進協議会（訪問型子育て支援）
- ・明治安田生命保険相互会社（越谷市内にて支援活動に協力）
- ・三芳町社会福祉協議会 ・埼玉県社会福祉協議会

※“意見交換会”では、埼玉県が考える「こども応援ネットワーク埼玉」概要が伝えられ意見交換がされました。概要の中には、11月開催のマッチングフォーラム（子ども食堂フォーラム）のイメージについても伝えられました。

#### 【9月】

①埼玉県福祉部少子政策課より、「こども応援ネットワーク埼玉」設立にあたり“発起人になってほしい”との連絡があり、お話を伺い協議の結果、発起人になることを了承しました。

##### ※9/20（木）懇談会 参加者

組織推進執行役員吉川、コミュニケーション・CSR推進 執行役員山内、埼玉県本部長大山

##### ※発起人予定者

- ・埼玉県社会福祉協議会、彩の国子ども・若者支援ネットワーク、さいたまユースサポートネット、埼玉県子ども食堂ネットワーク、フードバンク埼玉、フードバンク西埼玉

##### ※懇談の中で話題になったこと

日生協がすすめる「子ども未来アクション」「子ども未来アンバサダー」

子ども食堂フォーラムについても出展依頼があり出展について確認しました。

②懇談後、埼玉県福祉部企画幹内田様より再度の懇談の申込みがありました。

“目的”コーポミらいと協力して「子ども未来アンバサダー」について埼玉県内に普及させたい。  
H31年度「子どもの貧困問題に関する県民講師の養成」という名目で予算化検討している。

##### ※10/25（木）、組織推進執行役員吉川との懇談を予定

・埼玉県の平成30年重点施策「子どもの貧困の解決～貧困の連鎖解消～」について  
重点施策ということで、少子政策課のみが具体化しているのではなく、住宅課など複数の課が具体化をすすめている施策です。協力を求められる包括連携企業などからは、わかりづらいという意見もあつたことから、10/22（月）包括連携企業と子どもの貧困に取り組む課が集まった“分野別情報交換会”が開催されます。



平成30年度 当初予算 チャンスあふれる埼玉

## 子供の貧困の解決 ~貧困の連鎖解消~

### 振込 小学生から高校生までの切れ目ない学習支援

1億701万円

#### 1 ジュニア・アスポート事業 [6市町でモデル的に実施]

小学生向け「ジュニア・アスポート教室」の運営  
・学習・生活支援、体験活動 健康支援を実施

・地域で困窮世帯の子供を支える体制を構築

(対象) 困窮世帯の小3~6

ジュニア・アスポート教室

学習・生活 体験

連携

団地

#### 2 アスポート学習支援事業の充実

高校生教室の新設 (町村部)

- ◆ 高校中退者や高校未進学者に対して、再就学・進学・就職などを支援

### 埼玉県知事記者会見



### 新規 子どもの応援ネットワークづくり 630万円

- ◆ 子ども食堂の運営のノウハウや先進事例の紹介などを実施
- ◆ 子供の居場所づくりに取り組みたい方と応援したい方による

ネットワークづくりを支援

県・市町村・協議

子ども食堂

フードバンク・企業

### 新規 県営住宅を活用した子供の居場所づくり 2,400万円

(モデル団地 2団地)

- ◆ 団地自治会やNPO等が団地や地域の子供の生活を支援
- ◆ 遊び場提供、食事提供、学習支援などを実施

### ⑦

## 子ども応援ネットワーク埼玉 イメージ

H30. 6. 14

### 目標へ向かう

子どもの貧困問題に取り組む  
多様な主体の連携・情報発信プラットフォーム

- 居場所の質的向上と量的拡大
- 正しい知識の啓もう
- 多様な主体の参加を促す世論づくり
- 要支援者向けの支援情報の一元的発信

子ども食堂・居場所の運営  
子ども食堂への支援  
学習支援、体験活動の場提供  
要支援家庭情報の把握

### 寺社

### NPO

### フードバンク

食材提供、子ども食堂への支援



居場所の質的向上と量的拡大

貧困家庭への支援情報

子どもたちが困る問題に連鎖する音もつ・参加を促す世論づくり

子ども応援ネットワークとしての活動イメージ

### リアルイベント

オーラムでのキャラバン  
県内各地の見学会  
子どもの居場所見学会  
子育成など研修  
衛生など利用者の対話の場  
親など効果の検証と発信

### SNS・ポータルサイト

各種支援施策の一元的情報発信  
(就労、資格取得、住宅)

居場所情報の発信  
企業のCSR情報  
居場所運営者向け家支援情報

### メディアリレーション

取材誘致活動  
記事化に向けた情報提供、働きかけ  
メディアとタイアップ企画

# こども応援ネットワーク埼玉 趣意書

毎日の食事が給食だけ。

晩御飯をいつも一人ぼっちで食べている。

経済的な理由で、修学旅行に行けず、部活動に参加できない。

塾に通えず、進学のチャンスが狭められてしまう。

子どもたちが育った家庭環境によって、「あたり前」の生活を営むことができず  
に、やりたいことをあきらめ、さびしい思いをしている子どもがたくさんいます。

でも、「今の時代に、そんな子がいるのか」とおっしゃる人が多いのが現実。  
子どもの貧困は見えにくいために気づくことができず、見過ごされてしまっている  
のではないでしょうか。

子どもたちが安心して笑顔で毎日を過ごせるように守ってあげるのは私たち大人  
の責任です。

そこで、私たちは「こども応援ネットワーク埼玉」を発足させることにしました。

私たちは、県民の皆さんをはじめ企業、NPO、各種団体、行政などの様々な立場の  
皆さんと手をたずさえて、孤立や貧困にある子どもを見過ごすことなく守り、子どもたちの笑顔を育んでいきます。

おいしいご飯を、みんなで楽しくお腹いっぱい食べましょう。

学ぶことの楽しさを知ってください。そして、たくさんの大友達とふれあってください。

私たちは輝かしい将来の夢や目標を持って、それを目指して頑張る子どもたちを  
精一杯応援していきます。

そして私たち大人も、子どもたちの笑顔からたくさんの元気をもらいます。

私たちはこのネットワークを通じて、子どもたちを応援しようと立ち上がった会  
員の皆さんとのつながりを大切にし、会員相互の情報共有を図りながら、会員自身  
が得意なことや持ちあわせている資源を存分に活かし、着実に実行に移していきま  
す。

私たちの考えに賛同していただける仲間を募りたいと思います。

ぜひ御一緒に、できることから、一つひとつ、前に向かって取り組んでいきま  
しょう。

すべての子どもたちが、チャンスと希望を持って素敵な大人になれるように。

平成30年9月

こども応援ネットワーク埼玉 設立発起人(案)

埼玉県

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会

一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク代表理事

白鳥 烈

特定非営利活動法人さいたまユースサポートネット代表理事

青砥 恭

埼玉県子ども食堂ネットワーク代表

野口 和幸

特定非営利活動法人フードバンク埼玉代表理事

竹花 康雄

特定非営利活動法人フードバンクネット西埼玉代表理事

黒田 和代

生活協同組合コープみらい理事長

新井 ちとせ

スペシャルサポーター

法政大学教授／全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長

湯浅 誠

立教大学教授

湯澤 直美

特定非営利活動法人キッズドア理事長

渡辺 由美子

## こども応援ネットワーク埼玉 会員規約

### (趣旨)

第1条 「こども応援ネットワーク埼玉 趣意書」（以下「趣意書」という。）の趣旨に賛同し、貧困の連鎖の解消向けた社会貢献活動等に積極的に取り組む企業・事業所、地方公共団体、各種団体（以下「団体・法人」という。）及び個人を会員として登録することで会員相互の情報共有を図るとともに、会員の活動を幅広く情報発信することにより貧困の連鎖の解消に向け社会全体で取組む機運の醸成を図り、もって貧困の連鎖の解消に向けた県民の社会貢献活動等の円滑な推進に資することを目的とする。

### (事務局)

第2条 事務局を埼玉県福祉部に置く。

### (会員の社会貢献活動等)

第3条 会員は、趣意書に賛同する団体・法人及び個人で、埼玉県内において次に掲げる社会貢献活動等を1つ以上実施するものとする。

- ①金銭の寄附
- ②こども食堂等の子どもが安心できる居場所づくり
- ③食材や物資提供のほか、様々なサービスの提供
- ④体験活動の機会の提供
- ⑤学習支援の機会の提供
- ⑥ボランティア活動（企業・事業所、団体の場合は社員や構成員によるボランティア活動）
- ⑦親子への支援（就業や家計、子育て、住まいをはじめとする暮らし全般の相談等のサポート）
- ⑧場所やスペースの提供・フードドライブBOXの設置
- ⑨広報・PR活動
- ⑩その他の社会貢献活動、公益活動

2 次のいずれかに該当するものは、前項の社会貢献活動等には該当しない。

- ①政治活動または宗教活動に関するもの
- ②法令その他公序良俗に反するもの
- ③虚偽や誇張があるなど事実と反するもの
- ④第三者の権利や財産を侵害するおそれのあるもの
- ⑤人種、国籍、職業、性別、思想、信条、障害等により不当に人を差別し、または差別を助長するおそれのあるもの
- ⑥子供の健全な育成を阻害するおそれのあるもの
- ⑦その他会員の取組として適当でないと事務局が認めたもの

### (会員登録)

第4条 会員への登録を希望する団体・法人及び個人は、趣意書と本規約に同意のうえ、様式1-1（団体・法人用）または様式1-2（個人用）の会員登録シートに必要事項を記入の上、事務局に提出する。

2 事務局は、前項の会員登録シートの提出があった場合において、その内容が第1条の趣旨に照らし、

適當であると認めるときは、会員として登録するとともに、その旨様式2により会員あて通知する。

3 フェイスブックページ「こども応援ネットワーク埼玉」に「いいね！」をしたアカウントについては、「SNS会員」とみなし、その登録数を事務局は隨時把握する。

#### (変更等の届出)

第5条 会員として登録された団体・法人及び個人は、登録した内容を変更し、または取り消ししようとするときは、速やかに様式3により事務局に届出を提出するものとする。

#### (会員の社会貢献活動等の広報)

第6条 事務局は、ホームページやSNS等の広報媒体を活用し、会員の社会貢献活動等を積極的に広報する。

2 会員自身も自らの社会貢献活動等について、積極的に広報を行うよう努めるものとする。

#### (会員の社会貢献活動等への協力)

第7条 事務局は、会員からの要請に基づき、社会貢献活動等の対象となる支援先に関する情報提供を行うとともに、支援先のマッチングに協力するなど、会員が社会貢献活動等を円滑に実施できるような環境づくりに配慮するものとする。

#### (会員の遵守事項)

第8条 会員は、社会的通念上適切な行動を取り、当プロジェクトおよび受入先の活動や信用等に損害を与えないように責任を持って行動しなければならない。

第9条 会員は、行動の全ての責任は会員自身にあることを自覚し、会員自身の病気やけがのほか、事故、天災、盗難などの場合も、事務局および支援先への補償請求はしない。

第10条 会員は、活動を通じて知り得た情報等の秘密を保持し、活動終了後においても、それらの情報等を他者・他団体に提供しないことを誓約する。

第11条 会員は、取組の実施にあたり支援先の団体の指示に従う。

#### (登録内容の確認等)

第12条 事務局は、必要に応じ、会員に対し登録内容の確認ができるものとする。

2 事務局は、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、登録を取り消すことができる。

①登録シートの記載事項に虚偽があることが判明した場合。

②会員に公序良俗に反する行為ろうが判明し、登録がふさわしくない認められる場合。

③会員と連絡が取れなくなった場合。

④第6条の規定に基づき、会員が登録の取り消しを希望する場合。

#### 附則

この会員規約は、平成30年9月 日から施行する。

## 様式1-1

## こども応援ネットワーク埼玉 会員登録シート

団体・法人用

登録項目	公開・非公開の区分	記入欄
団体名 ふりがな	公開	
代表者職名・氏名	公開	
住所	公開	〒 一
御担当者所属・職名・氏名	公開	
メールアドレス	公開	
電話番号	公開	
ホームページアドレス	公開	
フェイスブックページの有無	公開	いずれかに○を あり なし
社会貢献活動等の内容	公開	<p>該当するものに、チェックマークを入れる(複数選択可)</p> <p><input type="checkbox"/>①金銭の寄附</p> <p><input type="checkbox"/>②こども食堂等の子どもが安心できる居場所づくり</p> <p><input type="checkbox"/>③食材や物資提供のほか、様々なサービスの提供</p> <p><input type="checkbox"/>④体験活動の機会の提供</p> <p><input type="checkbox"/>⑤学習支援の機会の提供</p> <p><input type="checkbox"/>⑥社員や構成員によるボランティア活動</p> <p><input type="checkbox"/>⑦親への支援 (就業や家計、子育て、住まいをはじめとする暮らし全般の相談等のサポート)</p> <p><input type="checkbox"/>⑧場所やスペースの提供・フードドライブBOXの設置</p> <p><input type="checkbox"/>⑨広報・啓発活動</p> <p><input type="checkbox"/>⑩その他の社会貢献活動、公益活動 ( )</p>
社会貢献活動等の詳細(具体的な内容が決まっている場合に記載)	公開	

※公開と区分している登録項目には、個人を特定できる情報を記入しないでください。

# どう断ち切る

## 支援活動の進捗を取る

県は22日、主要施策の「貧困の連鎖解消」をテーマに、民間企業や団体と連携して開いた。包摂的連携協定を締結した13社を含む23の企業・団体が参加。貧困にあえて子どもたちの現状や企業の活動事例などを始め、貧困の連鎖を断ち切る方法や連携の在り方についてグループごとに話し合った。(三宅芳樹)



=22日午後、さいたま市浦和区の県民健康センター

# 県木の道

包摂的連携協定を締んだ企業の情報交換会は毎年開催され、多くの親世帯は生活が厳しいところが、特定のテーマで行つて、庭で十分に面倒を見ながらの親から野寺真吾長は「通常より腰下子くじ連鎖する」と指摘した。げた形で情報を交換し、効果的なマッチングを図りたい。何か一態の改善や孤食の解消、学習支援でも連携の種ができるはあり援など多様な機能を持つ「子どもがだ」と期待を込めた。

会食では、県が子化政策局の内田貴之企画課が子どもの貧困や企業・団体などによるこの現状を説明。「全国的に子どもを支援ネットワーク埼玉」を一人、ひとり親世帯では2人県が立ち上げる「人に一人の子どもが貧困状態にある連鎖解消に向け、社会全般、服装などの外見は普通な体で取り組む機運を醸成したので貧困を見えていく」と述べ、い」と話した。

## 不適切4例明示

入試調査 文科省、大学名示さず

文部科学省は23日、医学部調査の中間報告書を公表した。得点が同じでも、長期

でより高い評価を得たと合格にならなかった「不適切な可能性が高い事例」を四つ明示。しかし、調査継続などを理由に既に不正が明らか

該当する大学名や校数を示さず、来年の入試に向け受験生の選択肢は避けられることになった。

中間報告書は10月中旬までに訪問調査した30校が対象。そ

女子を面接などで不利としたケースのほかに、①調査書や書類調査で現役生に加点し、長期浪人生には加点しない②卒業生の女子を特定受験生はり上位も合格させる③繰り下位の特定受験生に先に連絡する――といった内容。

一つの事例に複数校が含まれる場合があり、昭和大は④に該当する。女子に不利な値段ラインの設定があつた

疑惑が浮上している。また、不適切な複数校も該当してみられる。また、不適切なことも、合否判定齋生の年齢と性別、卒業族がどうかといった感想を述べる。大学があり、疑惑を妨げなくて改善を求める場合があり、昭和大は④で説明すれば、特等生を理由なく合格や不

## ニュースクリップ

◆ソシビニに強盗、5万円奪ひ逃走  
(川口) 23日午前4時50分ごろ、川口市上青木5丁目のコンビニエンスストア「ローソン川口店」に男が

## 障害者雇用問題

県

III

中央省庁の障害者問題をめぐらす。社会の交流回数の増加や子育て人材養成、学習支援など、地域の「心のインフラ」向上を目指している。支援活動において業績も上がっている」と語った。

会の後半は、グループ討議を実施。企業や団体、県職員がそれぞれ八つのグループに分かれ、前後半でメンバーを入れ替えて自由に話し合った。

セブン-イレブン・ジャパン埼玉ゾーンの山本副総務マネ

ジヤーは「子ども食堂は単に食事の提供だけではなく、子どもの教育機会をプラスにする場である」というのが分かった。当社でも支援策を検討したい」と意欲を見せた。

各教育委員会や水道局に213人の水増し問題を発表した。その二季が8割以上を占める調査対象は県内の半数でなく、重度障害者06機関。今回の差分を短時間労働者は三分で換算した。

最多の県教育委は1市が16人分、戸田市が

越谷市が8人分で続いた。

のほか、県警本部、

狭山市、春日町など3人分を実際より多く

# 日本生協連提案の「子どもの未来アクション」学習ツールの活用について

2018年10月5日 組織運営部

## 1. 報告

子どもの貧困問題について、ブロック、エリアで学びや交流をおこなう場合に、「子どもの未来アクション」の学習ツールが活用できます。

## 2. 子どもの未来アクションとは

(1) 「子どもの未来アクション」は子どもの貧困問題について知り、学び、理解を広げるための取り組みとして、日本生協連提案で2018年4月からスタートし、地域の中で共感の輪を広げていく活動をすすめています。

※資料「子どもの未来アクションとは？」

(2) コープみらいも「子どもの未来アンバサダー」(地域での理解者・支援者を増やす役割)として団体登録し、エリアやブロックでの学びや交流の場で、日本生協連から提供される学習ツールを活用することができます。

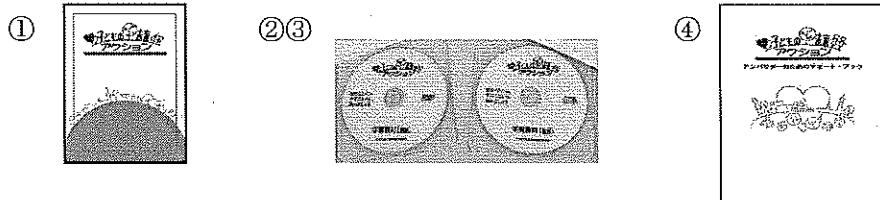
※学習テキスト・学習教材動画・学習スライド

## 3. 学習ツールの活用・手配について

### (1) 学習ツール

10月下旬を目安に各ブロック委員長あてに以下の1セットをおくります。(参考ツールです)

- ①学習テキスト (A5)
- ②学習教材動画 (DVD) … 6つの動画
- ③学習会スライド・学習会開催計画書、報告書・アンケートの雛形がはいったもの (CD)
- ④学習会開催の手引き (アンバサダーのためのサポート・ブック) (A4)



### (2) 学びや交流をおこなう場合 (エリア・ブロック・みらいひろばなど)

①学習テキスト (A5) のみ、必要人数 注文できます。

②申込み手順

・「子どもの未来アクション学習会開催計画書」を記入し、開催3週間前までに各都県本部の窓口に申込みます。

・学習テキスト (A5) が、依頼場所へ郵送されます。

・学習教材動画・学習スライド、アンケートなどは、必要に応じてブロック分を活用します。

※「子どもの未来アクションの紹介動画」(約2分)はホームページで見ることができます。

・終了後、「子どもの未来アクション学習会開催報告書」を記載して各都県事務局へ提出  
→日本生協連へおくります。

## 4. その他

(1) 「みらいひろばニュース」1月号のトピックスは「子育て支援」がテーマとなり、「子どもの未来アクション」について掲載予定です。以上



## 子どもの未来アクションとは？

子どもの未来アクションは、  
貧困をはじめとする子どもの問題を、身近な地域の問題としてとらえ、  
学び、考えることから、共感の輪を広げていく運動です。

日本には 7 人に 1 人、相対的貧困状態の子どもがいると言われています。  
しかし、この問題を語るとき、  
「私の周りに、そんな子はいない気がするんだけど…」という声がよく聞かれます。

相対的貧困が「見えにくい貧困」とも言われるゆえんですが、  
今日の子どもを取り巻く問題の多くは、  
相対的貧困と同じように、「見ようとしないと見えない」問題であふれています。

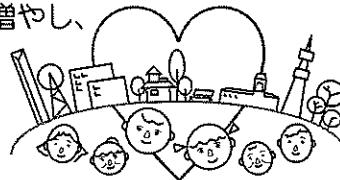
子どもの未来アクションでは、  
「知ることから、学ぶことから、始めましょう」と、  
貧困をはじめとする子どもたちを取り巻く困難な状況について、  
大人たちが、身近な人たちとともに学ぶ、場づくりを支援します。

子どもを取り巻く問題について、  
地域で主体的に活動する人（子どもの未来アンバサダー）を増やし、  
子どもの未来のためアクションを広げます。

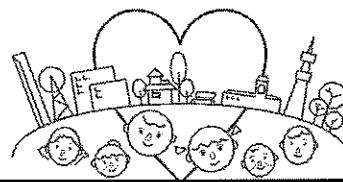
子どもの未来アクションは、この冊子を手にした、あなたから、始まる活動です。

### 目指すのは ...。

- 学習会を通じて子どもの貧困問題に関心を持つ人を増やそう！
- 子ども食堂や学習支援などの活動への理解者、支援者を増やし、  
地域で助け合い、支え合える社会をつくろう！



ブロック→開催 3 週間前に各都県本部へ提出



## 子どもの未来アクション学習会開催計画書

アンバサダー名：各都県本部 担当者

団体名：生活協同組合コープみらい

メールアドレス： 電話番号：

### 学習テキストの送付先

郵便番号：

住所・会場名：

電話番号：

氏名（受取者）：

※その他（受け取り希望日・時間）\_\_\_\_\_

ブロック名：

開催企画：(ブロック企画・みらいひろば企画・その他)

開催予定日：

開催規模（参加者見込み数）：

主な参加対象者：

開催プログラム内容：以下から選択してください

(15分プレゼン型・30分レクチャー型・2時間フォーラム型・3時間ワークショップ型)

その他

ブロック一開催後 2週間以内に各都県本部へ



## 子どもの未来アクション学習会開催報告書

アンバサダー名 :

団体名 : 生活協同組合コープみらい

メールアドレス : 電話番号 :

ブロック :

開催企画 : (ブロック企画・みらいひろば企画・その他 )

開催日 :

参加人数 :

開催プログラム内容 : (計画からの変更点があれば記載ください)

参加者のようす・学習会を開催した感想 :

参加者の感想 :

その他 :

(6/28企画開催→8/31理事会(後記)→(9/4ブロック上)→9/7委員会議(事後確認)→9/21ネットワーク推進会議→9月下旬)

# コープみらい 10月号

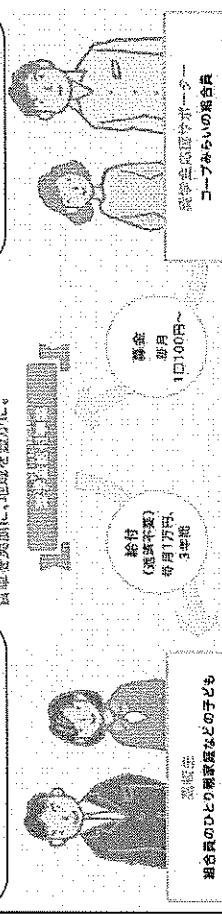
食事を笑顔に、地域を豊かに。

## コープみらいの奨学金給付事業

～支援の輪が広がっています～

子どもの貧困は7人に1人と言われ、両親がいる世帯に比べひとり親の貧困率は高い傾向にあります。コープみらい社会活動団は、コープみらいの組合員のひとり親家庭（両親がない方も含む）を対象とした、返済不要の奨学金給付事業をスタートしました。2018年度新入学の高校生から、奨学生から、奨学生応援団へ

奨学生応援団ボーターは  
2017年10月から募集し  
約1万人となりました。



多くの方のご支援で支えられている「助け合い」の制度です。募金で応援する「奨学生応援団ボーター」も引き続き募集しています。

詳しくは「コープみらい財團 奨学生事業」

<http://www.coopmirai-zaidan.org/jp/scholarship/about/>

## 奨学生 応援団ボーターの声から

いただいた奨学生は、部活のユニークな部や合宿、試合の園形に充てさせていただこうと思います。これからも部活を頑張っていきます。

娘は毎日元気よく生活しております。これまで私が娘やまわりの人から支えられてきたことへの恩返しとして、いろいろな事情で大変な境遇に置かれているる子ども達を応援したいと思いました。

何より娘の気持ちが少し楽になりました。

共通版

①

みんなのまわりの  
子どもたち、笑っていますか？

コープみらいの  
子どもの貧困  
アワシヨン

地域を笑顔に、地域を豊かに。  
子どもの貧困について、学ぶごと  
から始めよう！

## 子どもの問題、それは私たち大人の問題、社会の問題

日本では子どもが1人（または2人）が泊泊的貧困状態（一晩ただけではなく、平均的な家庭の子どもながらもあるいは兄弟の生活ができない状態）にあると言われています。しかし「私の周りに、そんな人とのつながりが薄くなる中で、困難を抱えて孤立した子どもがいます。より良い社会を子どもたちに渡すことは大人の役割です。

子どもは生まれてくる環境を選べません

一方、地域での助けや見守りが「子どもの力」になります。子どもたちの未来のためには、子どもたちと一緒に、社会の問題としてどうぞ、学び、考えるところから、共感の輪を広げていく運動です。日本生協、全国の生協や地域の団体などと一緒に、コープみらいで学習や取り組みをすすめています。

詳しくはホームページをご覧ください → [子どもたちの未来アクション](https://mirialaction.org/index.html)

## ヒバクシャ国際署名へのご協力ありがとうございます

ヒバクシャ 国際署名  
寄せられました。引き続きご協力よろしくお願ひします。

ヒバクシャ 国際署名  
APPEAL

ヒバクシャ 国際署名  
寄せられました。引き続きご協力よろしくお願ひします。

## 今月のおすすめ逸品♪

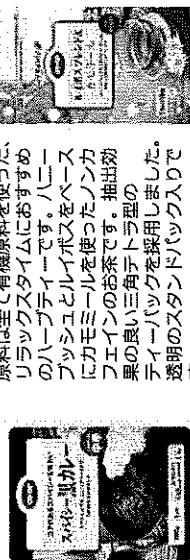
お店や宅配からおすすめ商品を紹介します

### ■ 店舗から

#### スパイシーブラックレーベル

1人前 180g 通常価格 98円（本体価格）  
SM店全店・ミニコープ店（一部店舗除く）

1.5g×18袋 ヴィナチュール 取扱い予定



スパイシーブラックレーベル

※予定販売ですので、実現する場合があります。長い差延、発送する場合があります。ご了承ください。

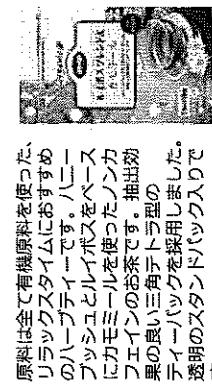
2018年10月度  
〇〇の県本部 会員ごネットワーク推進部

②

### ■ 店舗から

#### レイボスプレンド&カモミール

1.5g×18袋 通常価格 398円（本体価格）  
10月3回 ヴィナチュール 取扱い予定



レイボスプレンド&カモミール

# 活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連様）

**10月度**

## 1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等 (9月1日～9月30日)

生協名	パルシステム埼玉
報告者	山水 磨留美

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
8/21 9/4 9/7 9/13	「生協とは学習会」	・県内4会場でパルシステム生活協同組合連合会顧問の若森氏を講師に迎え、活動組合員を対象に「生協とは学習会」を開催し、総勢81名（エースタ川越15名、大宮ソニックシティ22名、本庄市はにぽんプラザ12名、武藏浦和コミュニティセンター32名）と多くの活動組合員が参加しました。協同組合・生協の成り立ちを知り、協同組合の歴史とパルシステムグループの歴史を振り返りながらお話をいただきました。参加者からは歴史をはじめとして、生協のしくみについて活発な意見や質問が上がり、「もっと生協についてのお話を聞きたい」「生協についての学習会を今後も開催してほしい」などの感想も寄せられました。
9/8	「くらし見直し講座「社会保険と年金を使った自分年金」	・たすけあい活動助成企画として、井戸美枝氏を講師に社会保障・退職後の生活設計に不安な方を対象に年金、生活保障、社会保険、医療、介護の改正など今後の動向や私たちの生活への影響、企業年金などについての講演会を開催し54名が参加しました。公的年金だけでは十分ではない資産を増やすための黄金の3原則（投資・積立・節税）を基に「つみたてNISA」「個人型確定拠出年金」（iDeCo（イデコ））など資産を増やす方法をお話しいただきました。参加者からは「今後の老後のために参考になった」「引き続き機会があったら井戸先生の講演を聞きたい」と大変良かったとの声を多数いただきました。
9/8 9/23	沃土会わくわく農園	・9月8日、23日に沃土会にて農作業体験を行いました。8日は総勢20名（大人12名、子ども8名）の参加となり、ピーマン、なす、空芯菜、モロヘイヤの収穫と草取りを行いました。23日は総勢14名（大人9名、子ども5名）の参加でピーマン、なす、空芯菜、モロヘイヤ、大根、たまねぎの収穫と畑周辺の草取りを行いました。
9/12	子サポのママカフェ「タッチケアで親子の絆を深めよう」	・「タッチケアで親子の絆を深めよう」と題し、子育てサポーターによるママカフェを開催しました。初めての企画となるタッチケアを子育てサポーターの指導のもと、ママの温かい手で赤ちゃんをやさしくなでたりさすったりして行いました。ぐずっていた赤ちゃんもだんだんおだやかになり、うれしそうに声をあげる赤ちゃんもあらわれ、タッチケアの効果を感じられました。後半はいつものようにお茶とケーキでほっと一息。ママどうしで日頃の何気ない話をしたり、子育てサポーターへ離乳食をどうしたらよいかなどを聞いたり、短い時間でしたが、毎日がんばっているママのリフレッシュになりました。
9/17	商品展示会 2018in 春日部 	・9月17日（月・祝）東部地域振興ふれあい拠点施設ふれあいキューブで「生産者・メーカーと会おう、話そう、伝えよう！」をテーマに開催し、午前の部465名、午後の部324名、合計789名の組合員とそのご家族や知人の方々に、ご来場いただきました。メーカーや生産者等の出展は40と多くの団体にご協力いただきました。春日部市で初開催の会場である為、初参加者が6割近くなりました。今回、グリーンカーテンコンテストやエシカル川柳の表彰なども行い、様々な取り組みについてもお伝えすることができました。生産者やメーカーにとって、商品の試飲・試食を行うことで商品を知ってもらう絶好の機会となり、また直接交流を図ることにより、商品への理解が深まり信頼も高まった商品展示会となりました。また、ブース支援として組合員ボランティア4名のご協力をいただきました。
9/21 ～ 9/22	JAふくおか八女 公開確認会 	・JAふくおか八女でみかんを対象品目として公開確認会を開催し総勢90名が参加しました。主催者及び受入産地の挨拶した後、産地プレゼンテーション（産地概要、供給品目や供給量の推移、栽培内容や状況など）にて産地の取り組みを説明いただき、質疑応答を行いました。初日の最後は、帳票類を監査人が閲覧し環境保全の取り組みや、農薬の使用基準が守られて使用されているかなど確認。2日目はみかん園地や選果場、就農支援センターを訪れ、生産者の松崎氏やかんきつ部会の職員から説明を受けながら視察。最後は、2日間を通じた質疑応答を行い、監査人による所見の発表と、受入産地を代表して公開

		確認会の産地受け止めが報告されました。監査人からは、園地での除草剤使用、作業場や選果場の管理、エコチャレンジに取り組む生産者の広がりや交流機会の創出など、産地の受け止めでは、八女の農業を伝えてもらい意見をフィードバックしてほしい、消費者ニーズをいかに早くとらえ時代の変化に対応していく…そんなJAふくおか八女でなければならないとのお言葉をいただきました。
9/24	「CO・OP 共済 感謝のつどい」 	・ぱる★てらすで「CO・OP 共済 感謝のつどい」を開催し CO・OP 共済の満期者の組合員 15 名とコープ共済連、パルシステム埼玉の LPA、役職員の 29 名が参加しました。65 歳のつばさ♪『好きに使い切る・100 年人生ワークショップ』と題した記念講演では、パル福島より大川幸子氏をお招きし今後の人生 70 代、80 代、90 代を元気で楽しく生きていくためのお金との付き合い方をお話いただき、「上手に家計を回すことで安心して暮らすことができ、それが健康につながるのです」と話し「老いても動ける自分を作つておくことが大切ですよ」と語りかけました。参加した組合員は老後のお金の使い方や家計の見直し、用途に応じた銀行口座の賢い使い分け等、ワークショップを通じ、あらためてこれからのがんの「生きるお金の使い方」に理解を深めました。
9/27	フレイル予防学習会 	・医療生協さいたま様との共催で、「フレイル予防で健康寿命をのばそう」を開催しました。2 回目となる今回は、口腔機能についてのお話と健康チェックを行い、医療生協のサポートーさんを含めて 13 名が参加しました。前半の座学は、歯科衛生士の方を講師に招き、「いきいきした暮らしはお口の健康から」をテーマにお話いただきました。後半はフレイルの兆候をチェックするフレイルプログラムを実施しました。体力・栄養・社会参加・心についての質問と、運動習慣についての質問に答えた後、筋肉量、運動機能のチェックを行い、結果を集計して分析や評価を行いました。フレイルチェックは、フレイルサポートーのみなさんにお手伝いいただきました。フレイルサポートーは、医療生協さいたまの「フレイルサポートー養成講座」を修了し、地域の健康の担い手として活躍されています。
9/29	沃土会「畑の学校」下期開校式	・小雨の降る中、参加者 18 名（大人 11 名、子ども 7 名）で畑の学校下期開校式を行いました。最初に矢内代表により、土と触れ合って農作業をたくさん体験して下さいとの挨拶がありました。レタス、サニーレタス、白菜の種植えと春菊の収穫体験を行いました。
9/29 ～ 9/30	庄内産直ネットワーク稲刈り体験 	・組合員 31 名（大人 23 名、子ども 8 名）、役職員 5 名、参加者 36 名が参加しました。初日は稲刈り体験、加茂水族館見学。2 日目は JA たがわの山添倉庫の見学、山ぶどう収穫体験、ぶどうジュース作り等行いました。台風の影響で天候が心配されましたが両日とも天候に恵まれ、無事に予定していた行程は問題なく進めることができました。参加した子ども達からは「また来たい、稲刈りが楽しかった」などの声をたくさんいただきました。なお、「JA 庄内たがわ女性生産者交流会」を 12 月 7 日（金）ぱる★てらすにて行う予定です。

## (2) 社会貢献やCSR活動等

- 「ヒバクシャ国際署名」結果（9/20 集約締め）／2018 年度：9,962 筆（署名用紙 9,718、オンライン 244）、2017 年度：25,465 筆、合計 35,427 筆（グループ全体：2018 年度 47,587、2017 年度 182,208、合計 229,795）
- 「西日本豪雨緊急支援募金」結果／18,646,356 円（グループ全体 138,297,211 円）。受付期間は 7/16～8/17。
- 埼玉県高齢・障害者ワークフェア 2018 「埼玉県知事表彰受賞」／障がい者の雇用の安定、雇用の促進を図ることを目的に、障がい者雇用に積極的に取り組みをしているとして、埼玉県知事表彰（障害者雇用優良事業所）を受賞し、9/14 浦和コミュニティセンターでの表彰式に参加。
- 2018 年度の「市民活動支援金」及び「東日本大震災復興支援助成金」の助成希望団体募集を 9/3 より開始し、10/31 まで受付。
- ぱる★てらす「親子ふれあいサロン」（9/7、14、21、28）／「ママのリラックス＆リフレッシュボディケア講座」（乳がんの簡単自己チェックと親子で楽しいボール遊び）、「手形・足形スタンプとおしゃべり」、埼玉県家庭教育アドバイザーによる「親子ふれあい遊びと子育て」、子育てサポートーによる「絵本読み聞かせと手遊び」を実施。
- いきいきタウン蕨 第 12 回産直野菜市（9/8）／「社会福祉法人ぱる」いきいきタウン蕨と周辺地域の交流を深めることを目的に野菜市を開催し 150 人が来場。
- 大豆トラスト草取り（9/8）／神川農業グループと登録組合員 8 名にて、生育状況の報告を聞いた後、草取りを実施。昨年から埼玉県推奨品種「里のほほえみ」に変更し病害虫の被害が少なく順調に生育。
- 双葉町ママサロン支援（9/12）／福島県双葉町出身のママサロンメンバー 5 名が参加し、カルチャーヘルパー企画「リフレクソロジーとオイル作り」を開催。体験後、組合員協力開発商品のパウンドケーキとハーブティーを試食しながら交流。
- 消費者被害防止サポートー養成講座（9/28）／消費者被害をなくす会と共に開催し 6 名が参加しサポートーに登録。

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

- ①総代選挙／定数 400 名、最終 370 名で公告
- ②新総代オリエンテーション／10/5～16 にて 5 回開催
- ③第 1 回エリア別総代会議／11/15 にて県内 7 回開催
- ④幹部会（10/25）／上期総括、下期課題の確認
- ⑤2019 年度方針集中討議（11/26）／2019 年度事業活動方針作成に向けた方針論議

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
9/29～11/17	センター青空市 県内 8ヶ所	2,000 名
10/1	高齢者支援でのコミュニケーションの勘所	80 名
10/6	南埼玉産直ネットワーク（岩槻）田んぼ交流収穫祭	100 名
10/22～11/9	2018 年度「パルシステム埼玉平和募金」／10/22～11/9 受付	—
10/25	産直講座「八千代産直」編	30 名
10/27	2018 年度「親子にやさしい産地体験」	40 名
10/29	認知症予防を考える～自身や家族が認知症にならないためにできること～	100 名
11/3・4	宮城県南三陸町被災地スタディツアーア	30 名
11/10	大豆トラスト運動 収穫体験	40 名
11/21	産直講座「タカハシ養鶏場」編	30 名
11/30	パルシステム生産者・消費者協議会「産直ごはんの日」	30 名
12/1	沃土会「畑の学校」収穫祭	20 名
12/8	沃土会収穫祭	100 名
12/5・6	「産直鶏＆電力」学習会（3 回開催）	30 名（1 企画当）
12/7	JA 庄内たがわ女性生産者交流会	30 名

(5) 組合員拡大 4月末日現在 ※ () 内 予算比

9 月度（人）			4 月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
2,607 (85.4%)	1,714 (94.6%)	893 (72.0%)	15,995 (99.7%)	11,229 (96.5%)	4,766 (107.9%)	208,898

(6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

テーマ委員会数	5	テーマグループ数	12
地区会数	25	エリア委員会数	4
サークル数	65 (50/15)	委員数	225

## 2. 事業報告

9 月度		4 月より累計	
受注高	前年比	事業高	前年比
2,050,974 千円	101.5%	13,119,271 千円	101.7%

以上

# 活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連御中）

10月度報告

生協名	生活クラブ生協
報告者	事務局 金津

## 1. 組織活動報告

### (1) 主な組合員活動等（9～10月）

※各地の組合員組織の主体による活動よりご紹介します。

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
9/22	鶏肉学習会（日高）	国産鶏種はりま（呼称「丹精國鶏」）について、生産者による解体の実演を見ながらの学習、交流会。
9/27	カンタン！アイデア料理講習会（所沢東）	新規加入者を対象に、加入後の定着を図るための支部イベント。
10/4	えび＆えび＆えび@消費委員会（狭山ブロック）	民衆交易をベースにした、インドネシアの生産者とのフェアトレードで届くえびについて、生産～食べ方の工夫を学習、共有。
10/19	おしゃべりキッチン（越谷）	生産者と組合員が消費材開発、利用拡大のアイデアや工夫を共有する、交流と学びの機会。

### (2) 社会貢献やCSR活動等

- ・復興支援活動にむけてカンパ募集開始
- ・国際ヒバクシャ署名（継続）
- ・東海第二原発の運転延長・再稼働反対署名

### (3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

特になし

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
10/27	学習会「社会の構造が貧困をつくる」—市民活動と国政の視点—	狭山ブロック運動グループ協議会主催 衆議院議員（大河原氏）・市民セクター政策機構専務理事・生活クラブ理事長をパネラーに、解決の糸口を探る。
10/31	でんきの学習会＆ソーラーファンド 2019 庄内	「生活クラブでんき」の取組みおよび生産者（庄内）と生活クラブが立ち上げた自然エネルギー発電会社への出資協力に関する学習会
11/10	食と環境カレッジ 「このままでは国産はなくなる」	山形県の米生産者と埼玉県の野菜生産者、農業ジャーナリストを招き、国内農業の実状と将来の展望を学び、議論する講座。
11/2～3	J A さがえ西村山～提携 40 周年 みんなで祝おう！アニバーサリー ♡さがえフェス	山形県の生産者との提携 40 周年を祝い、よりおおぜいの組合員と生産者の出会いの機会をつくる。
11/17	第3回さんとめどんぐり村の秋まつり	三富地域の持続可能な将来を、地域団体や市民、行政と連携して創りだす観点から開催する祭り。 埼玉県環境部の出展をはじめ、地域の小中学校への広報を通し、毎年、参加者が増加している。

(5) 組合員拡大 9月 30日現在

9月度(人)			4月からの累計(人)			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
236	610	-3742, 867	2, 032	1, 915	117	32, 867

(6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

班数	797	サークル数	連：243
専門委員会数(本部)	24	グループ数	
支部・運営委員会数	55 支部	支部・運営委員数	720 名

2. 事業報告

9月度		4月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
712, 493 千円	100. 05%	4, 488, 890 千円	103. 98%

## 活動委員会用 単協組織・事業活動報告書(県生協連行き)

<b>10月度</b>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">生協名</td><td style="width: 50%;">医療生協さいたま</td></tr> <tr> <td>報告者</td><td>村崎 郁子</td></tr> </table>	生協名	医療生協さいたま	報告者	村崎 郁子
生協名	医療生協さいたま					
報告者	村崎 郁子					
<b>1、組織活動報告</b>						
(1)主な組合員活動等( 8月 25日～ 10月 24日)						
月 日	会議・催事名称	参加人数・活動内容・特徴等				
9月3～5日	西日本豪雨災害への支援活動	広島県安芸郡坂町小屋浦地区の社協ボランティアセンターへ泥だし中心に職員22名、延べ36日(7/15～9/2)、救護班に看護師1名2日間派遣、岡山民医連に医師支援1名派遣(9/3～5)しました。				
9月5日～6日	関信越ブロック組合員活動交流集会 in大洗	新潟、長野、群馬、栃木、茨城、埼玉の6県13生協の交流会に組合員12名職員1名で参加しました。大会記念講演「2040年に向けて挑戦みんなでつながるフレイル予防」を学び、参加者は演題発表をもって参加し、交流しました。				
9月7日	さいわい診療所まちかど相談会	「まちかど何でも相談会」を西川口駅にて開催しました。 駅前のネットカフェに「アポなし訪問！」対応してくれた女性店員には、はじめ怪訝な顔されました。丁寧に「無料低額診療事業」を紹介。「いいことやってるんですね！」とパンフレット50冊も預かってくれ受付に置いていただけることになりました。今回は7人の方の血圧測定など行いました。				
9月13日 19日	新総代オリエンテーション	任期開始となる総代対象に3つの会場にわけてオリエンテーションを実施しました。生協法、総代の役割、上半期の活動の振り返りを行いました。				
9月14日	生協強化月間スタート集会	10月1日から始まる生協強化月間スタート集会を開きました。医療生協の「いいとこ探し」コンテストで“いいとこベスト5”を決める投票や、事業所で見える化のために作成しているデコレーションコンテストでスタート集会を盛り上げました。「いいとこ」をアピールして仲間増やしをはじめ生協を広げていこうと意思統一しました。6事業所5支部の発表、組合員63人職員114人の参加でした。				
9月21日	いわて生協と医療生協さいたま連携事業	健康増進と交流を目的に釜石市内で「健康まつり」を開催。体力測定、うたごえサロン、じゃんけん大会などの催しを通じて被災者の健康づくりのサポートとこころのケアもおこないました。医療生協さいたまから、看護師歯科衛生士リハビリ職員の参加し、専門性を生かして血圧、筋力・バランス感覚の測定、歯のブラッシングの指導など行いました。組合員による笑いケア体操も好評でした。2013年から岩手大槌まちの支援も今回で最後となりました。後日、いわて生協より感謝状をいただきました。				
9月27～29日	お元気ですか&なんでも相談会	道合神戸支部内の市営住宅、県営住宅を組合員・職員と町会、老人会との協力で「お元気ですか&なんでも相談会」を行いました。				
9月22日	草加市松原団地での健康まつりの開催	今年は、真新しい松原団地の19号棟に会場を移し開催し、ケアステーションかしの木の職員も参加しました。お子様から高齢者まで150名あまりの参加があり、ゲーム・バザー・喫茶・福祉用具体験、骨密度測定・健康相談には行列ができるほど大盛況でした。またみんなで“笑いヨガ”で大笑いし、“愛といのちのちを歌う合唱団”と一緒に懐かしい歌を大合唱しました。地域の方々と楽しい一日を過ごすことができました。来年もたくさんのご来場をお待ちしています。				
10月11日	憲法・いのち・社会保障まもる10. 11国民集会	組合員・職員23名が参加しました。助産師の集めたbabyの足型を横断幕に銀座をアピールしました。行田協立診療所所長が医師不足を解消しようとアピールしました。				
10月13日	熊谷生協病院市民公開講座「まちで子育てを」	熊谷生協病院としてはじめての「市民公開講座～まちで子育てを」を開催しました。60名の市民に参加していただきました。ゲストに、熊谷市福祉部、熊谷市社会福祉協議会からもご参加いただきました。小堀院長の基調講演は“肩に力を入れない子育て”的メッセージでした。「声を出して本を読む」ことで、前頭前野に刺激を与えて脳を感動させることが、発達の過程では重要だというお話しでした。テレビゲームは時間を決めてお付き合いする事がいいようです。				
10月14日	秋の健康フェスタ	さいたまスーパーアリーナで、コープみらいフェスタ内の健康フェスタ開催。職員と組合員で健康チェックブースを設けて、医療生協さいたまを広くお知らせしました。約5000人の参加がありました。				



## 10月25日 県生協連活動委員会

### 【意見交換・交流テーマ】

#### ● 「子どもの貧困」に関する取り組みについて

##### ①「子どもの未来アンバサダー」

- ・県西の組担2名、大井協同医事職員1名、本部1名が登録している。
- ・学習会の開催も県西の組担中心に開催している。

##### ②子ども食堂 秩父で他団体と実行委員会をつくり開催（多世代ふれあい食堂）

- ・大井 「おーいこころん食堂」
- ・所沢 老健さんとめ「さんとめキララ」

所沢診療所「桂ん家」

\*社協と連携 夏休みサマーランチの取り組み

\*夏休みボランティア体験

\*地域福祉助成金 10万円/月

- ・川口 鳩ヶ谷支部で取り組み

##### ③11/26「子ども食堂フォーラム」への参加予定

##### ④子どもの貧困ではないが、行田東支部の組合員が学童落ちたから、私設学童「小見の子どもをまもる会」として近所の方たちと始めた。10人ほどのお子さんから小児科クリニックの建物を支部事務所として借りてスタートした。

その影響からか、行田市は年度途中から補助を出すようになった。

「小見の子どもをまもる会」

#### ● 「平和・憲法」の取り組み

##### ①11月12日 ピースフォーラム 2018 埼玉協同病院敷地内ふれあい会館

原水禁参加者の主体的活動になるように、参加を促し、リレートークを行う  
ピースチャレンジャー登録を提起

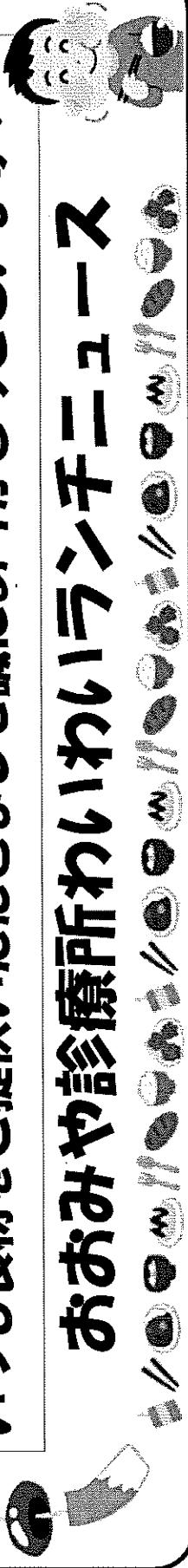
##### ②ピースチャレンジャー登録で署名に取り組もう 憲法学習資料の提供

生協強化月間の訪問行動で署名にも取り組もう

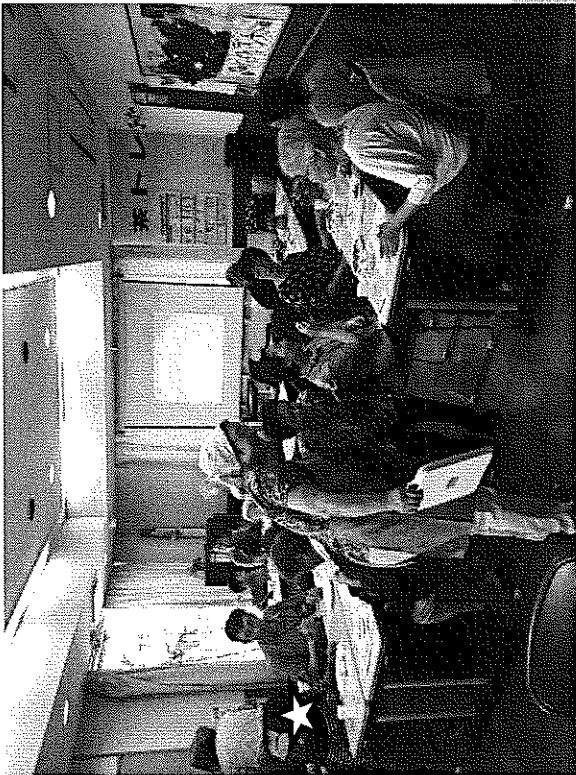
##### ③3.1 ビキニデーにむけた取り組み

いつも食材をご提供いただきありがとうございます！

## おおみや診療所わいわいランチニュース



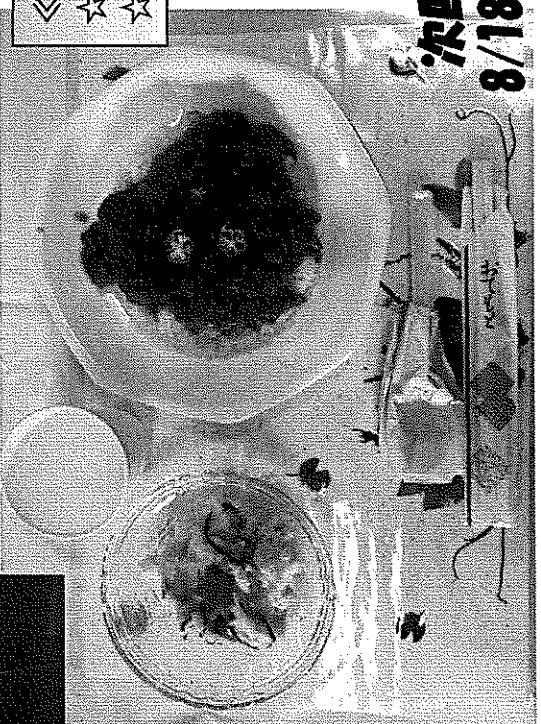
発行：2018年8月8日 おおみや診療所 組織担当 坂井光一郎



7/21（土）の行われましたわいわいランチの様子です。当日は猛暑にもかかわらず33名の参加があり、とてもぎわいいました。メニューは『七夕カレー、ポテトサラダ』で、子どもから大人までおいしくいただきました。七夕は過ぎてしまいますが、組合員さんによる七夕の装飾や笹も飾られ、短冊に願いごとを書いて笹に飾っていただきました。



«7/21（土）のメニュー»  
☆七夕カレー  
☆ポテトサラダ



笹に飾られた短冊には「数学がおもしろくなりますように」という可愛らしい願いごともありました☆



次回のわいわいランチは  
8/18（土）に実施します！

# 桂の食卓へ桂ん家 子ども食堂合同 溜しちとうめんサマースペシャル！

みんなと一緒に  
ご飯を食べよう！

過去最大80名の  
参加で大成功！

発行  
2018.8.24

所沢診療所  
地域連携担当  
清水



★昨年末のクリスマススペシャル食堂に続き、  
夏休み期間中の8/24に初のサマースペシャル  
食堂を近隣の子ども食堂と合同で開催しました。  
約10mのジェットコースター級に長い特製青  
竹で“流しそうめん”を実施。子どもはもちろ  
ん大人まで大喜び！過去最大80名の参加で準  
備していた6kgのそうめんはあつという間にな  
くなり、あわてて追加補充するほどに…

地域包括や民生委員、子ども会、市役所からの  
情報提供で初めて参加したご家族やマーラン  
チのボランティアも加わり、みんなで楽しくに  
ぎやかな会となり企画大成功！食後には花火大会  
も実施、みんなの笑顔がはじけました。

発行 2018.9.8  
さいわい診療所 組織担当 伊藤浩

# さいわい診療所

## まちかど何でも相談会IN西川口駅

ネットカフェに  
無料低額診療事業  
パン750円!!

こきりことは  
ございませんか！



★社保教育委員会主催の定例「まちかど何でも相談会」を西川口駅にて開催しました。朝会では関口所長より民医連新聞「診察室から」埼玉協同病院の事例紹介がありました。私たちもやらなくてはと駅前のネットカフェには「アボなし訪問！」対応してくれた女性店員にははじめ怪訝な顔されましたが、丁寧に「無料低額診療事業」を紹介。「いいことやつてるんですね！」とパンフレット50冊も預かってくれ愛付に置いていただけることに。

さいわい診療所の場所も教えたので「困っている人が助けられたら」と元気の出る行動となりました。

# 市民公開講座NEWS

2018年10月15日

10月13日、あすねっとホールにて熊谷生協病院としてはじめての「市民公開講座」を開催しました。60名の市民に参加していただきました。

ゲストとして、熊谷市福祉部から野中詔子部長、熊谷市社会福祉協議会からは橋本係長にご参加いただきました。

小堀院長の基調講演は“肩に力を入れない子育て”的メッセージが印象的でした。「声を出して本を読むことで、前頭前野に刺激を与えて脳を感動させることが、発達の過程では重要だ」というお話しでした。テレビゲームは時間を決めてお付き合いする事がいいようです。



お疲れ様でした。

## 「SDH」「親子病児保育」

子育てからSDHまで幅広いお話しでした。小堀院長が研修医の時に70歳の糖尿病患者さんに「60年続けてきた生活スタイルは変えない」といわれ、「60年前のこの人に働きかけたい」と思い小児科を決意した。という話はとても解りやすく説得力がありました。

小堀院長から提案された「親子病児保育」というアイデアも子育て支援の理想的なモデルとして実現したいものでした。

## 「小児病院ブランド」から「生協病院ブランド」へ～ (編集後記)

参加された市民の感想、野中部長のお話から、熊谷市民の心の中に「小児病院ブランド」が強く根づいていることを感じました。

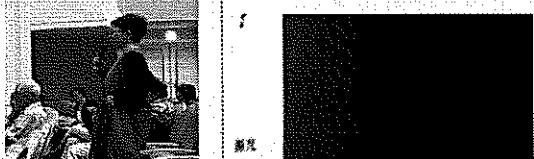
20年以上前に野中部長は、熊谷小児病院の待合室でスタッフにやさしく声をかけられたことを覚えていて、不特定多数の人の前でお話ししています。「接遇研修」「アメニティ」などの概念のない時代の話です。私たちの先輩が築いてってくれた「ブランド」をしっかりと“私たちのこころ”として引きついでいかねばならないと、改めて感じました。

(柴田大介)



橋本係長と参加した  
スタッフ

橋本係長のお話し  
傾聴を中心に据えた子育て支援を心がけている。実例を交え「相談してよかった」といってもらえることに喜びと自負を持っているということです。



フロアから  
の発言

会場から  
\* 自分の子育て中も病時保育があると良かった。  
\* 病児保育で働く人のためにも補助金をふやしてほしい。

\* 熊谷には相談できるところがいっぱいあってうらやましい。  
など率直な声が寄せられました。



小堀院長



野中部長

野中部長のお話し  
昨年開設された「子育て世代包括支援センター」の紹介や、「知らない人に何気なくかけられる一言に勇気付けられた」とご自身の経験を通して「みんなで見守る子育て」についてお話いただきました。

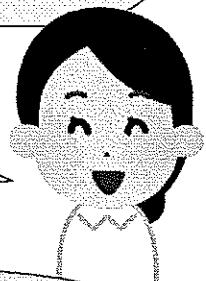
# 知る・考える・忘れない・伝える ピースフォーラム2018



記念講演の講師の川崎哲さんのご紹介

日本の社会活動家。国際運営委員昨年ノーベル平和賞を受賞した国際NGOネットワーク「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」国際運営委員 NGOピースボート（東京都新宿区）共同代表

どこの会場でも満席になってしまい  
“話題の講師”です



1987年の春、高校卒業後、バックパッカーとして中国を旅してみて、考えた。「革命記念館」の日本軍の残虐行為・・・歴史の記録、その一方で国家は歴史を利用することがある。自分の国も冷静な目で見ることで気づくことがある。核兵器禁止条約を日本政府は「実効性がないから参加しない」という立場をとっている。核兵器のこと、戦争と平和のこと「これはわたしの問題です」そう呼びかけて話をしよう。核兵器をなくす未来のことを

**日時：2018年11月12日（月）  
13時30分受付 14時から16時30分**

**会場：ふれあい会館第1会議室  
テレビ会議受付中！！**

熊谷生協病院は、テレビ会議で参加します！

埼玉西協同病院、秩父生協病院も検討中～

主催：ピースフォーラム実行委員会（医療生協さいたま・埼玉民医連・埼玉民医労）

お申し込みは各事業所または本部事務局まで

〒333-0831 川口市木曽呂 1317 Tel048-296-5408

# 活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

生協名	埼玉県労働者共済生協
報告者	塩崎 輝幸

**9～10月度**

## 1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（9月26日～10月末日）

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
9月26日	埼玉労済理事会および全労済埼玉推進本部代表委員会	<p>&lt;主な議題&gt;</p> <p>1. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①2018年8月末事業推進状況について</li> <li>②2018年7月末共済金支払い実績について</li> <li>③2018年度 関東統括本部／埼玉推進本部 第1四半期進捗報告について</li> <li>④レインボーバトン運動「東京マラソン2019」出走者確定報告について</li> <li>⑤埼玉県本部／埼玉推進本部 2017年度「組合員・お客さまの声報告書」の作成について</li> <li>⑥創立60周年を契機とした「全労済文化フェスティバル」の取り組みについて</li> </ul> <p>2. 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①大規模災害に伴う埼玉推進本部としての諸会議の対応について</li> <li>②関東統括本部・埼玉推進本部 2018年度マイカー共済取組強化期間における推進展開（案）について</li> <li>③2018年度「全労済セミナー」開催（案）について</li> </ul>
10月3日	生活クラブ 火災共済学習会	所沢センター エッコロ福祉委員会にて開催
10月9日	埼玉県消費者大会	実行委員として参加
10月14日	コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ	全労済東京推進本部と連携し対応
10月20日	パルシステム青空市	白岡センターにてブース設置
10月中	大学生協（4生協）	来春卒業予定者への紹介活動のお願い

概況	<p>1. 事業状況について（2018年8月末実績）</p> <p>2018年8月末の事業状況は、総件数1,094,443件、総口数148,932,281口となりました。対期首では件数で2,292件、口数で306,665口の純増となりました。</p> <p>対期首で口数が増加している共済は、火災共済（件数は減少）・自然災害共済、交通災害共済、こくみん共済、自賠責共済、慶弔共済です。</p> <p>一方、減少している共済は、団体生命共済、自動車共済、長期系共済となっています。</p> <p>2. 2018年度 給付実績について（2018年8月末現在）</p> <p>2018年7月末の給付実績は、2018年度累計件数17,827件 累計支払金額2,779,441,462円となり、対前年同期比で206件増(+1.17%) 15,463,423円減(-0.55%)となっています。</p> <p>3. 被災受付状況および共済金等支払い状況</p> <p>9月4日に徳島県に上陸した台風21号および9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震により、被災件数が相当数になると見込まれることから、全労済災害対策委員会において「非常事態宣言」を発令し、被災された組合員への対応を最優先事項として位置づけ、全労済グループの総力を上げて取り組んでいくことを確認しました。</p>
----	---

	<p>(1) 「大阪府北部を震源とする地震」(10月23日現在)</p> <p>①被災受付件数 12,379 件、調査等完了件数 10,388 件、完了率 83.9%</p> <p>②支払共済金額 4,426,626,000 円</p> <p>(2) 「2018年台風20号」(10月24日現在)</p> <p>①被災受付件数 4,003 件、調査等完了件数 1,995 件、完了率 49.8%</p> <p>②支払共済金額 554,701,937 円</p> <p>(3) 「2018年台風21号」(10月24日現在)</p> <p>①被災受付件数 69,773 件、調査等完了件数 7,755 件、完了率 11.1%</p> <p>②支払共済金額 2,521,450,513 円</p> <p>③車両損害 受付計 1,327 件 (対応完了率 39.0%)</p> <p>共済金支払金額 211,405,866 円</p> <p>(4) 「2018年台風24号」(10月24日現在)</p> <p>①被災受付件数 30,582 件、調査等完了件数 1,151 件、完了率 3.8%</p> <p>②支払共済金額 100,366,325 円</p> <p>③車両損害 受付計 648 件 (対応完了率 15.6%)</p> <p>共済金支払金額 9,945,879 円</p> <p>(5) 「2018年北海道胆振東部地震」(10月24日現在)</p> <p>①被災受付件数 2,429 件、調査等完了件数 770 件、完了率 31.7%</p> <p>②支払共済金額 240,842,000 円</p>
--	---

## (2) 社会貢献やCSR活動等

--

## (3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

--

## (4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
11月27日	埼玉労済理事会および全労済埼玉推進本部代表委員会	

## (5) 組合員拡大 月 日現在

月度(人)			4月からの累計(人)			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	

## (6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数	
支部・運営委員会数		支部・運営員数	

## 2. 事業報告（慶弔共済）

2018年5月末累計		2018年7月末累計	
件 数	口 数	件 数	口 数
58,957	223,469	59,953	227,956
		件 996 増	口 4487 増

全 濟 埼 発 第 18-29 号  
2018 年 10 月 12 日

協力団体 御中

全労済埼玉推進本部  
本部長 金井 浩  
<職印省略>

この間の全国的な大規模災害への対応状況等  
ならびに埼玉推進本部における今後の対応について

日頃の全労済運動・事業に対するご理解・ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

この度の自然災害により被災された組合員の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

この間全労済全体で進めてきた全国的な大規模災害に対する対応状況および新たに発生した台風 24 号の被災状況、ならびに埼玉推進本部における今後の対応についてご報告いたします。

1. この間の全国的な大規模災害への対応状況等について <2018年10月11日現在>

(1) 大阪北部地震(6月18日)、7月豪雨・台風7号、台風20号(8月23日~24日)、  
台風21号(9月4日)、北海道胆振東部地震(9月6日)への対応状況等について

	大阪北部地震	7月豪雨・台風7号	台風20号	台風21号	北海道胆振東部地震
被災受付件数	11,936 件	6,227 件	3,910 件	65,579 件	2,090 件
(うち埼玉県内)	—	5 件	32 件	344 件	—
完了件数	10,206 件	5,060 件	1,725 件	4,023 件	490 件
お支払い共済金額	約43億4,100万円	約103億5,500万円	約4億7,300万円	約11億7,700万円	約1億900万円
支援人数※1	12名	—	20名	40名	—

※1. 埼玉推進本部からの延べ支援人数(10月24日までの確定人数) <連続8日間の現場調査要員として>

(2) 台風24号(9月30日)の被災状況について

9月30日20時頃に和歌山県に上陸し、列島を縦断するコースをたどり、関東を中心に暴風雨による甚大な被害をもたらしました。

	埼玉県内	関東統括本部域	全国
被災受付件数	1,335 件	8,390 件	17,544 件

2. 埼玉推進本部における今後の対応について

(1) 埼玉県内の被災された組合員の皆さまへの対応

現在、被災された組合員の皆さまの一日も早い生活再建に向け、現場調査活動等を実施しています。

今後の早期完了に向け、最優先事項として役職員の総力をもって対応を進めています。

(2) 全国的な動員支援を実施している大規模災害への対応

これまで関西統括本部域内(主に大阪・京都)への職員の動員支援を実施してきました。

今後も引き続き本部・関東統括本部と連携し、必要となる支援を継続していきます。

引き続き、各協力団体等の皆さまに対しご迷惑・ご不便等をおかけいたしますが、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上

■全労済ホームページでの被災受付先

全労済ホームページ「TOPページ」専用フォームより受付

<https://www.zenrosai.coop/>

2018年10月25日

## 埼玉県生協連2018年度 第3回活動委員会報告

報告者：荒井 伸幸 生協名：東都生協

### 2018年9月度決算概況

区分	単月			累計		
	実績	前年比	予算比	実績	前年比	予算比
供給高	2,596,100	100.8%	96.1%	15,409,205	100.2%	99.7%
その他事業収入	62,360	98.4%	95.5%	365,456	98.8%	98.1%
総事業高	2,658,460	100.7%	96.1%	15,774,661	100.2%	99.7%
事業総剰余金	697,464	101.8%	96.4%	4,110,025	101.3%	99.7%
事業経費合計	725,018	99.4%	100.9%	4,340,791	100.4%	100.5%
人件費	343,209	97.1%	100.0%	2,069,245	99.7%	98.9%
物件費	381,809	101.4%	101.8%	2,271,546	101.1%	102.0%
経常剰余金	▲4,203	19.7%	▲16.6%	▲76,581	59.8%	122.4%
稼働日数	23日	(前年=23日)		132日	(前年=132日)	

※百円単位で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。（実績の単位：千円）

（単月）供給高は予算設定の関係もあって予算を下回ってはいますが、前年を上回りました。共同購入・生活支援・弁当配食の3事業で前年を超過しました。

事業経費の前年差では8月度と同様に入件費が下回った一方で物件費が前年を超ましたが、事業経費合計では前年を下回る結果となりました。経常剰余金はマイナス420万円となり、前年よりマイナスが少なかったものの予算がプラス2,538万円のため予算比は▲16.6%となっています。

（累計）供給高はほぼ前年並みとなっています。事業経費は物件費が前年・予算ともに超過しており、人件費と合計すると前年を1,860万円、予算を2,260万円ほど上回っています。経常剰余金は依然マイナスで、前年より約5,154万円少なくなっていますが、予算よりも約1,401万円マイナスが多くなっています。

### 事業別の供給高

区分		実績 (単位：千円)	前年比	予算比	コメント
共同購入事業	供給高	単月 2,544,396	100.9%	96.3%	利用人数は9月度単月・累計共に前年比・予算比を上回りましたが、一人当たり利用高の低下により単月供給高は予算比で96.3%となりました。
		累計 15,087,234	100.2%	99.7%	
	一人あたり 利用高	単月 5,310	99.9%	96.2%	
		累計 5,475	99.7%	99.2%	
	利用人数	単月 479,135	101.0%	100.0%	
		累計 2,755,587	100.5%	100.5%	
弁当配食事業	供給高	単月 23,328	113.6%	86.6%	9月は配送者の欠員が続き、エリア拡大、販促活動の取り組みができず、予算との乖離が広がりました。ただし、配食数は伸長しており、前年比113.6%となっています。
		累計 129,939	110.5%	94.3%	
生活文化事業	供給高	単月 25,194	80.2%	88.2%	手数料計上部門が好調で、供給高計上部門の予算未達成をカバーすることができました。
		累計 159,195	96.0%	103.3%	
生活支援事業	供給高	単月 3,182	100.7%	95.1%	ハウスクリーニングの供給高は前年比で伸長しましたが、剩余については内製比率を高められなかつたことが影響し、全体でも予算・前年を大きく割り込みました。
		累計 32,838	118.8%	112.2%	

### 仲間づくりの状況

組合員数	単月	前年比	累計	前年比	前年比
8月20日	243,990人	102.2%			
加入	1,892人	123.9%	11,005人	117.7%	
脱退	1,234人	111.5%	7,490人	118.1%	
純増	658人	156.7%	3,515人	116.8%	
9月20日	244,648人	102.3%			
				出資金総額 6,618,075千円	99.1%
				1人あたり出資金額 27,051円	96.9%

## 配食事業部関連（9月度）

		9月度単月			2018年度累計(4月～9月度)		
		実績(千円)	予算比	前年比	実績(千円)	予算比	前年比
供給高	弁当	4,600	123.3%	114.7%	25,744	133.7%	109.9%
	おかず	12,001	74.2%	112.2%	66,327	79.6%	109.6%
	国産応援ご膳	6,728	105.4%	115.2%	37,868	115.1%	112.8%
	冷凍弁当	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	合計	23,328	86.6%	113.6%	129,939	94.3%	110.5%
配食数	弁当	8,551	121.5%	111.3%	47,853	131.9%	104.6%
	おかず	22,306	73.1%	109.2%	123,297	78.4%	103.9%
	国産応援ご膳	9,585	102.1%	114.6%	53,947	111.5%	111.0%
	冷凍弁当	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	合計	40,442	85.2%	110.9%	225,097	92.4%	105.7%
延べ登録人数		147,261	93.4%	128.6%	796,878	96.8%	127.9%
延べ利用人数		30,664	81.0%	110.0%	176,414	90.4%	109.5%
稼働日		22	100.0%	100.0%	123	100.0%	99.2%
1日当配食数		1,838	85.2%	110.9%	1,830	92.4%	106.5%

9月度（9/20）現在の登録人数は、6,748名です。

登録人数内訳：杉並2,493名、城西1,164名、調布737名、国立726名、小平299名、足立716名、品川281名、八王子136名、町田196名

### (2) 特徴的な取り組み

#### 1) 利用普及関連

- ・9/3週に配食エリアの個人宅配利用者へ案内チラシの配付を実施しました。
- ・利用した夕食宅配商品の帯封を集めて、景品と交換するご利用感謝キャンペーンが8月31日で終了しました。引き続き、10月1日からポイントラリーと称して、同様の企画を実施します。

#### 2) 見守り活動

9月1日～9月31日の期間に前日に配食した弁当がそのまま残っているなどの事象が7件発生しました。いずれも本人または同居の家族、緊急連絡先などと連絡が取れています。なお、地域包括支援センターなどの行政機関に報告した事例はありませんでした。

### 署名・募金関連

- ・ヒバクシャ国際署名状況：4,574筆（10月10日現在）
- ・2018年度東日本大震災支援募金状況
- ・組合員募金 758,200円（10月6日現在）
- ・1点1円募金 15,258円（9月度現在） 残高 1,291,322円
- ・西日本豪雨緊急募金状況 15,419,200円（10月6日現在）
- ・未来につなぐ募金状況（10月6日現在）
  - 2017年度分：1,303,200円 2018年度分：3,467,000円 合計：4,770,200円
  - 2018年度助成予定額：1,370,000円

### 未来につなぐ募金関連 2018年度助成団体連絡会開催

10/3(水)団体の活動紹介と交流、助成利用についての意見交換を行いました。

### さんぽんすぎセンター「るんるんズカフェ」

10/29(月)、11/5(月)、11/12(月)カフェ、10/22(月)、11/26(月)健康体操、10/27(土)、

11/24(土) ころころ食堂☆高井戸、11/19(月) さんぽんすぎサロン

#### 認知症サポート養成講座

現在 4 センターで開催中、受講者 84 人(9/12 より全センターで実施)

地域での平和募金企画 9 地域で開催

農家のプチプランチ 9 地域で開催

10/24(火)「きょうされんと東都生協との交流会」

参加団体:作業所スクラム、リサイクル洗びんセンター、むさし結いの家、集いの家、のびのび共同作業所、サングリーン、すずかけの家

子どもの未来アクション 子どもの未来アンバサダーについて

- ・アンバサダー登録:1名
- ・組合員理事対象に学習会開催:1回(30 分レクチャー型)

#### 今後の主な活動予定

- ・総代オリエンテーション(地域別) 10/9~11月
- ・10/25(水)ノーベル平和賞 ICAN 川崎哲さんが語る～世界から核兵器をなくすために～
- ・10/27(土)杉並センターまつり
- ・10/30(火)ヒバクシャ国際署名をすすめる東京連絡会主催「都民のつどい」参加
- ・11/14(水)ピースアクション東京戦跡めぐり～東京に残る戦跡をたずねて～(平和ガイド:コープみらいさん)
- ・12/11(火)憲法学習会～知っておこう 憲法改正となったら動き出す、国民投票の問題など～
- ・12/10(月)～後期ブロック会計学習会(4会場)
- ・11月～2019年1月末冬エコ&100万人のキャンドルナイト
- ・2019年度地域コーディネーター関連 12月説明会 2月面接・選考 2月・3月研修

※ 関連資料があれば添付してください。

用紙に記入しきれない場合は、別紙に記入のうえ添付してください。

※ 本資料は組織担当者会議資料として、そのまま使用させていただきます。

# 東京都生協が取り組む 貧困問題に開ずる主な活動



2018年10月25日

## 【東都生協 福祉政策2025】

**東都生協がめざす「福祉」の4つの取り組み**

地域に暮らす人々と暮らしを共につくり、互いのいのちとくらしを守っていくと協同の「福祉」をめざします。

平成27年度では、生活相談会が実施された通り、「福祉」という言葉を「高齢者や障がい者、子どもなどの社会的弱者が置けるものではなく、すべての人々が安心してくことであり、互いのいのちとくらしをめざすもの」と定義しています。

**少子・高齢化 単身世帯の増加**

環境変化 核家族化 生活形態の多様化 医療・介護・年金の不安 子育ての不安 高齢者の社会的孤立

**くらしの問題解決に 対応したサポート事業**

誰もが安心して暮らしこどとのできる 地域社会づくりの実現に向けて

**東都生協は地域社会に貢献していきます**

行政や他団体と協力、連携しながら、組合員と役職員が一緒にになって、元気な組合員活動で人と人のつながりをつくり、地域の人々の生活上の不安や困りごとに寄り添い、問題解決の糸口を探していくます。一人ひとりが自らのこととして考え、みんなで学び、話し合い、自分の「できること」の力を活かして行動していくことを。

**組合員同士のつながりで くらしの助け合い活動**

組合マーケットがお祭り 駅前イベント おしゃべりカフェ 地域とつながる会 おしゃべり会場 健康ママ・子育て支援 ほつどねんど 家事相談

**ハラスメントゼロ**

誰もが安心して暮らしこどとのできる 地域社会づくりの実現に向けて

**人や地域にやさしい 気配りと思いやり行動**

ハラスメントゼロ 安否確認 ノーマライゼーションをめざす 実施の歴史づくり

**東都生協は地域社会に貢献していきます**

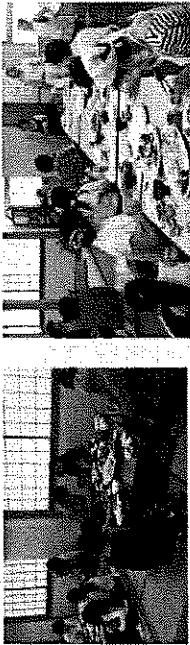


## 【フードライブ】 ・地域でフードバ

：地域でフニドバシク活動に取り組む団体など連携したドライブ [2018年度 3団体と連携]

## 【子ども食堂への支援】

さんほんすきセンター るるるんスカフェで子ども食堂 開催  
～こころ食堂☆高井戸 取い組みスタート～



①かんたんピザ ②おにぎり ③シーフードサラダ ④照り焼きチキン  
⑤野菜炒め ⑥お漬物 ⑦卵焼天と煮物のデザート ⑧野菜汁 ⑨卵かけごはん



月曜日の午後には開催しておきます。

[会員学習会]

卷之二十一

内緊の会習学

二十九の掛城福井一綱に孝子手本丸

「子どもたちの貧困問題の現状を学ぶ

この企画は、子どもたちが「自分たちの問題」を抱えながら、自分たちで問題解決する力や、自分たちで問題を解決するための知識や技術を身につけることを目的としています。この企画を通じて、子どもたちが「自分たちの問題」を抱えながら、自分たちで問題解決する力や、自分たちで問題を解決するための知識や技術を身につけることを目的としています。

いま、地域の子どもたちのためにできること

申込締切  
5/29(月)

5月31日(水)  
午後2時～4時30分  
東都生協  
さんほんすざセンター  
地下ホール

卷之三

卷之三

中華書局影印

卷之三

卷之三

卷之三

お申込いただいた個人情報は、この企画において撮影が必要な場合のみ、使用いたします。  
※主催「下駄井川祭」開口よりべきえぎ、さくら絆（はなぶるせき）

14